

第 2 次宗像市国土利用計画 (案)

<参考資料>

平成 2 6 年 6 月

－ 目 次 －

1 土地利用を規定する条件に関する基礎データ	1
1－1 基盤条件	1
(1) 年齢別人口構成	1
(2) 3階級別人口の推移	1
(3) 昼夜間人口	1
(4) 地区別人口密度	2
(5) 地区別人口増減	2
1－2 自然条件	3
(1) 土地利用の推移	3
(2) 地形及び水系	5
(3) 傾斜区分	6
(4) 表層地質	7
(5) 土壌	8
(6) 現存植生、植生自然度	10
(7) 貴重な自然の位置	12
(8) 良好な景観資源の位置	13
(9) 既往浸水区域	14
1－3 社会条件	15
(1) 産業別就業人口	15
(2) 農家数及び農業粗生産額の推移	15
(3) 漁業経営対数及び漁獲高の推移	16
(4) 製造出荷額及び従業者数の推移	16
(5) 年間販売額及び従業者数の推移	16
(6) 道路網、交通利便性	17
(7) JR利用客数	19
(8) 公共交通機関	19
(9) 土地利用に関わる法適用区域	20
(10) 公共公益施設の位置	21
(11) 大規模小売店舗などの位置	22
(12) 都市公園の位置	23
(13) 屋外レクリエーション施設の位置	24
(14) 上水道整備状況	25

(15) 下水道施設整備状況	26
(16) 農業振興地域及び農用地区域	27
(17) 農業生産基盤整備状況	28
1－4 歴史・文化的条件	29
(1) 指定文化財位置	29
(2) 埋蔵文化財位置	32
2 目標値の設定方法など	33
(1) 市土の利用区分及び定義	33
(2) 利用区分別面積の推移	34
(3) 利用区分別の目標面積の算定方法	34
(4) 土地利用転換表（現況年～目標年）	37

1 土地利用を規定する条件に関する基礎データ

1-1 基盤条件

(1) 年齢別人口構成

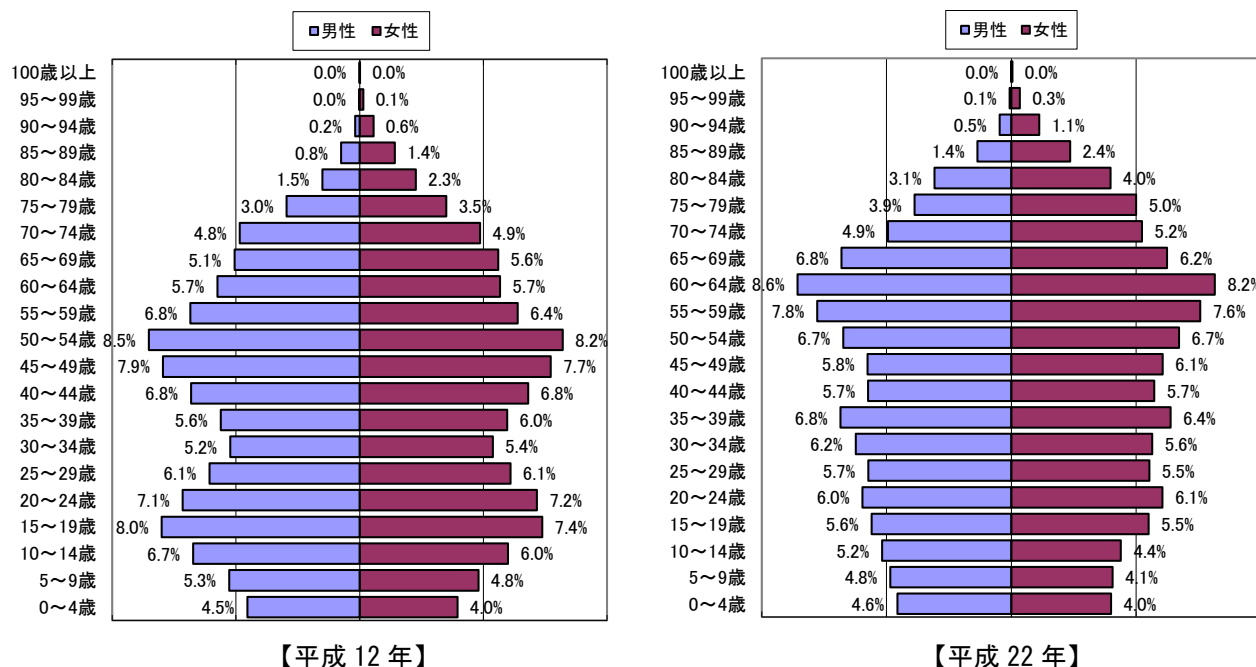


図 年齢別人口構成 [資料：国勢調査]

(2) 3階級別人口の推移

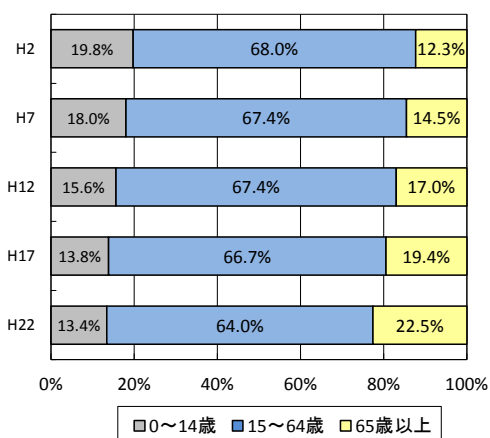


図 3階級別人口の推移 [資料：国勢調査]

(3) 昼夜間人口

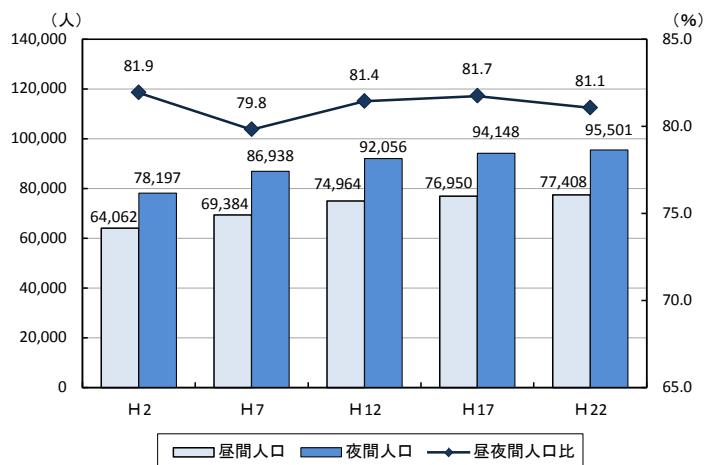


図 昼夜間人口の推移 [資料：国勢調査]

(4) 地区別人口密度

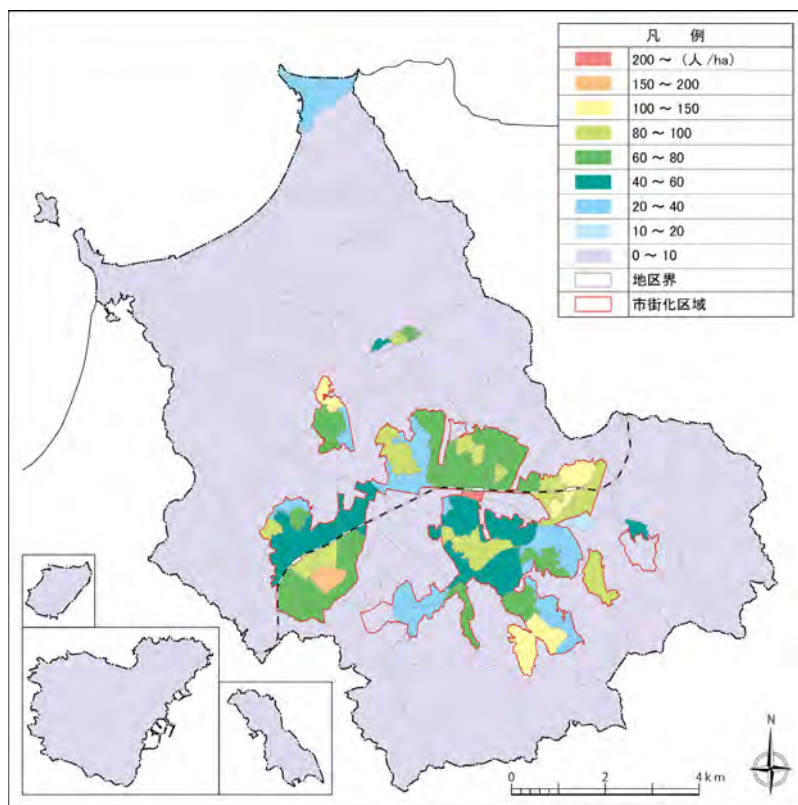


図 地区別人口密度（平成 22 年）〔資料：国勢調査〕

(5) 地区別人口増減

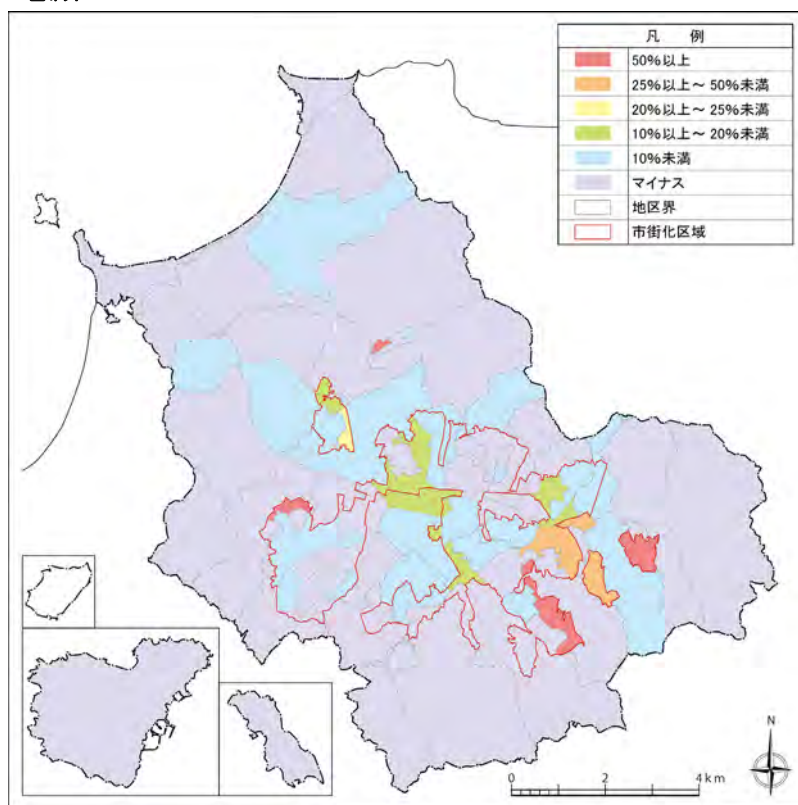
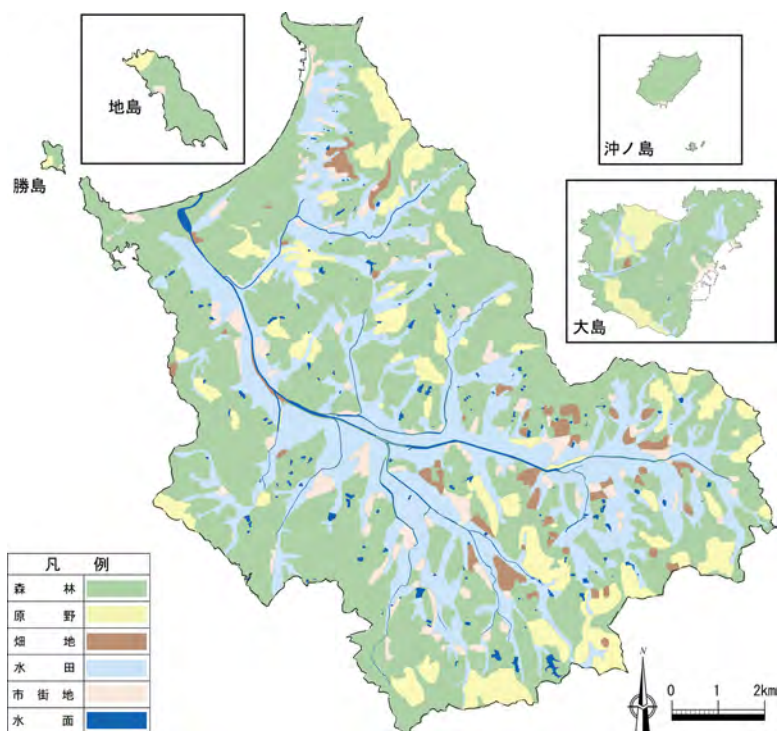


図 年齢別人口増減（平成 17～22 年）〔資料：国勢調査〕

1－2 自然条件

(1) 土地利用の推移

明治 33 年



昭和 38 年

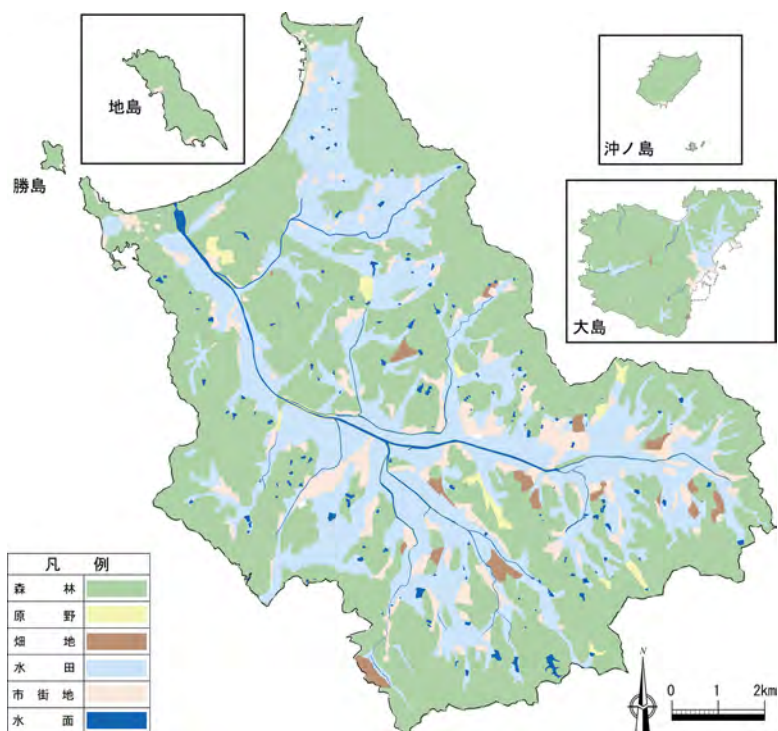
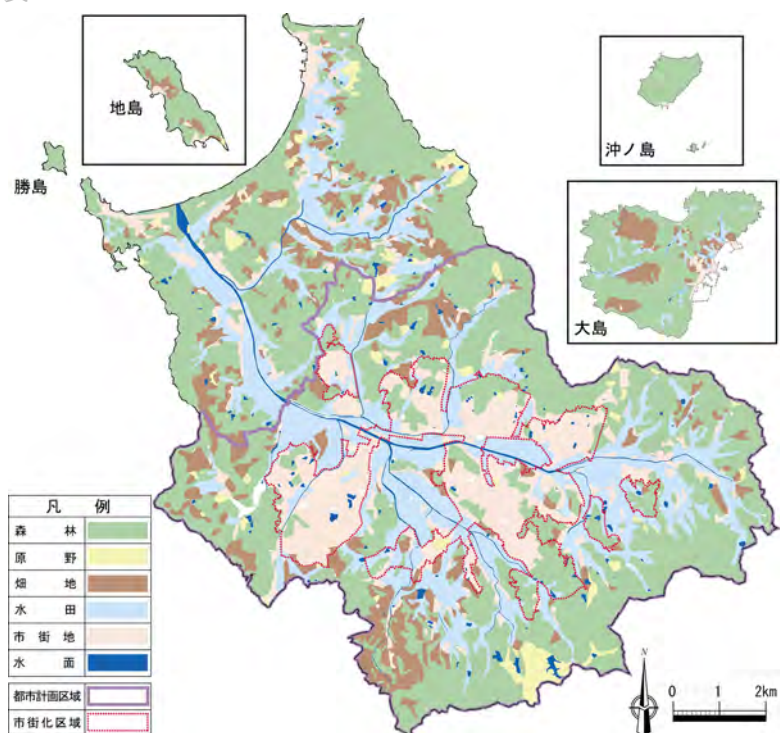


図 土地利用の推移／その 1 (明治 33 年、昭和 38 年)

〔資料：国土地理院旧版地形図〕

昭和 55 年頃



平成 14 年

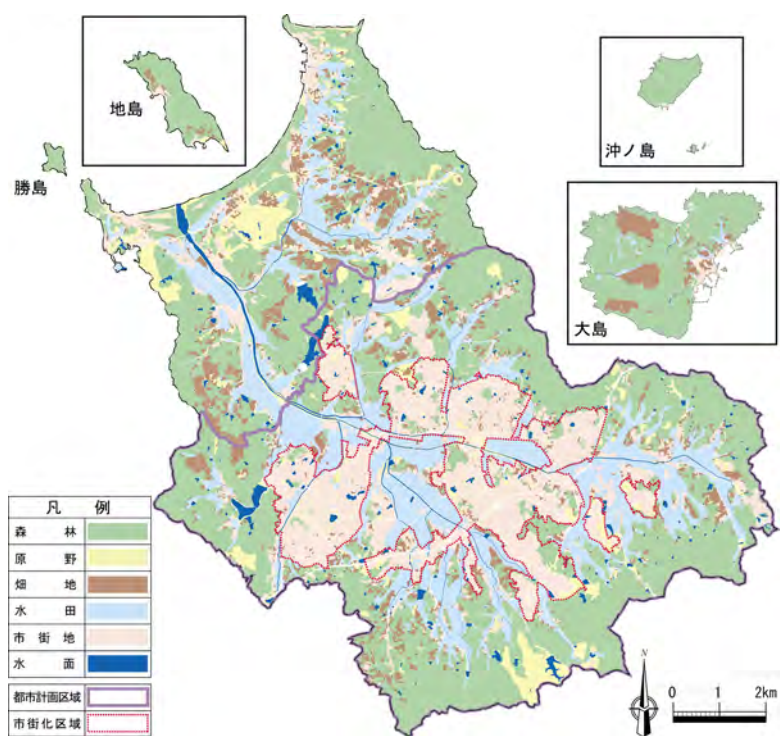


図 土地利用の推移／その 2（昭和 55 年頃、平成 14 年）
〔資料：国土地理院旧版地形図他〕

(2) 地形及び水系

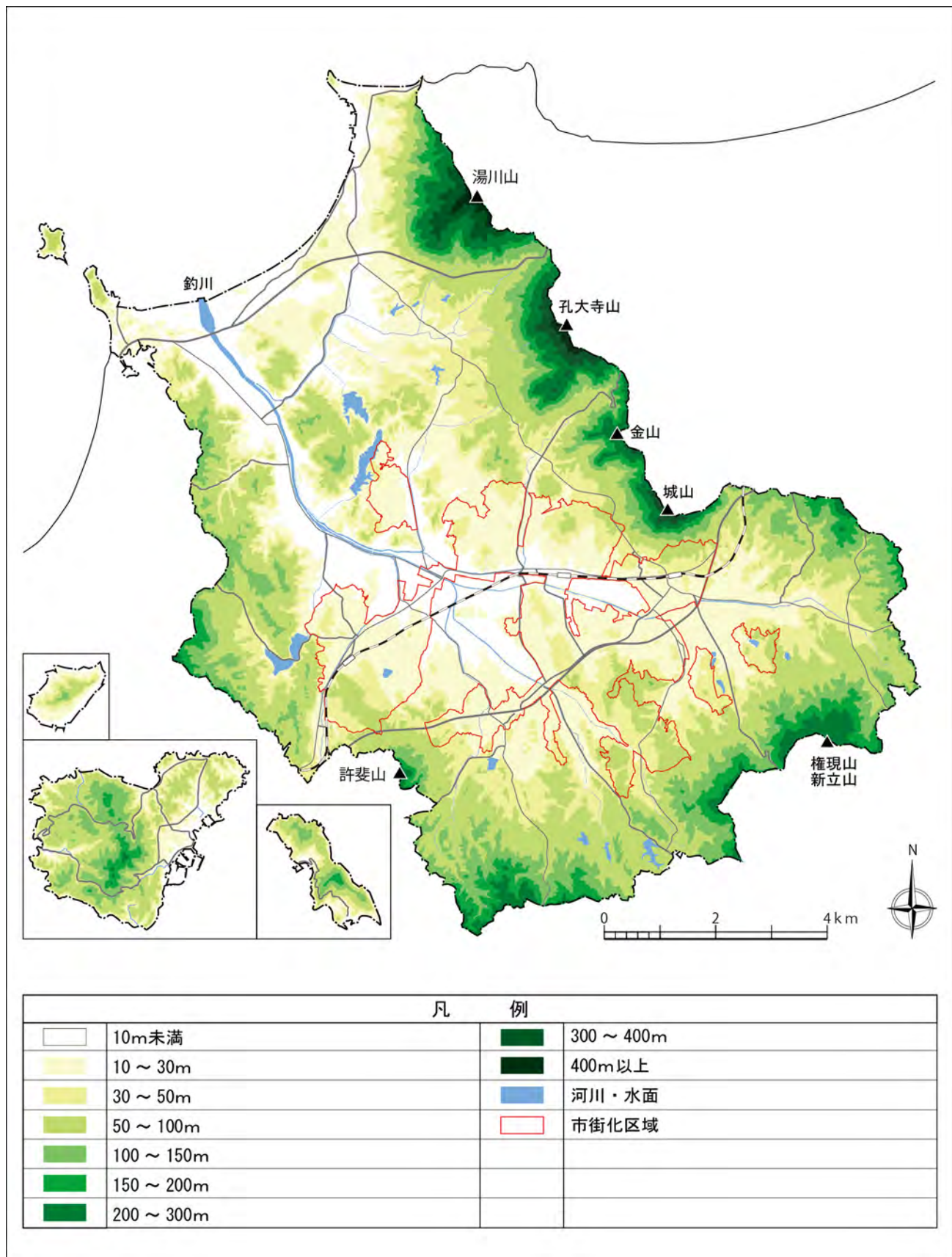


図 地形及び水系

[資料：都市計画基礎調査（平成 24 年度）、宗像市地形図（1/20,000）]

(3) 傾斜区分

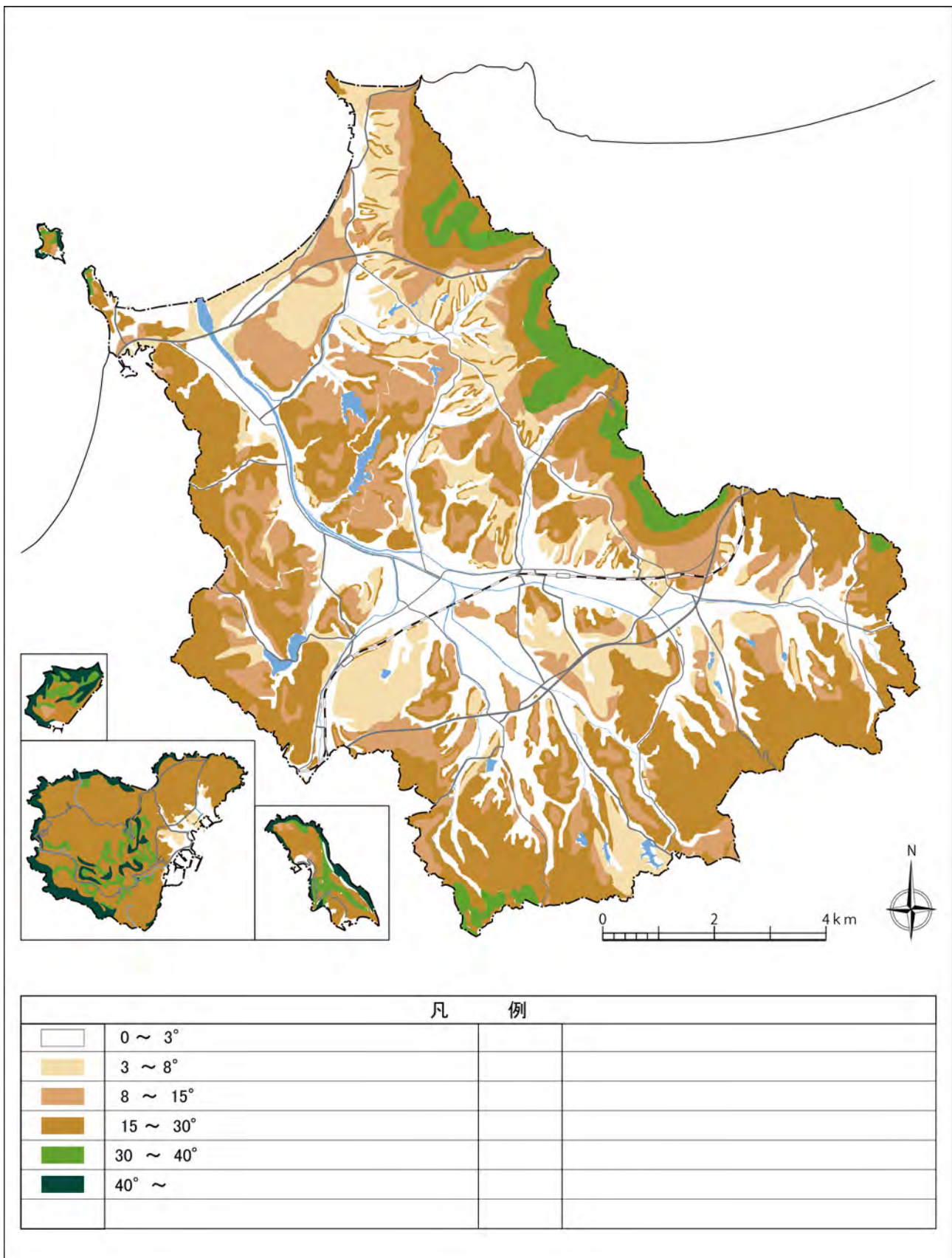


図 傾斜区分

〔資料：福岡県土地分類基本調査（S47）（S57）〕

(4) 表層地質

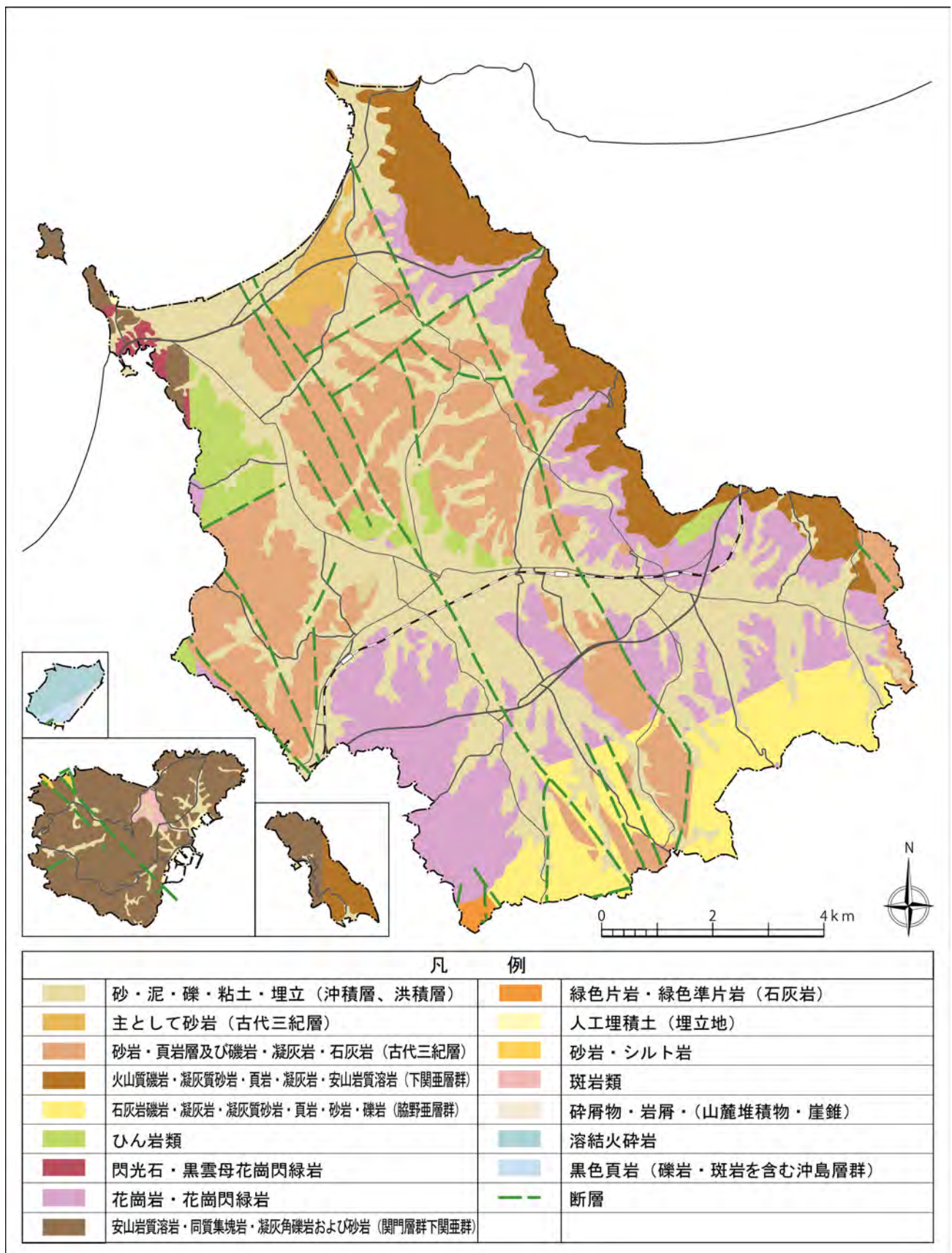
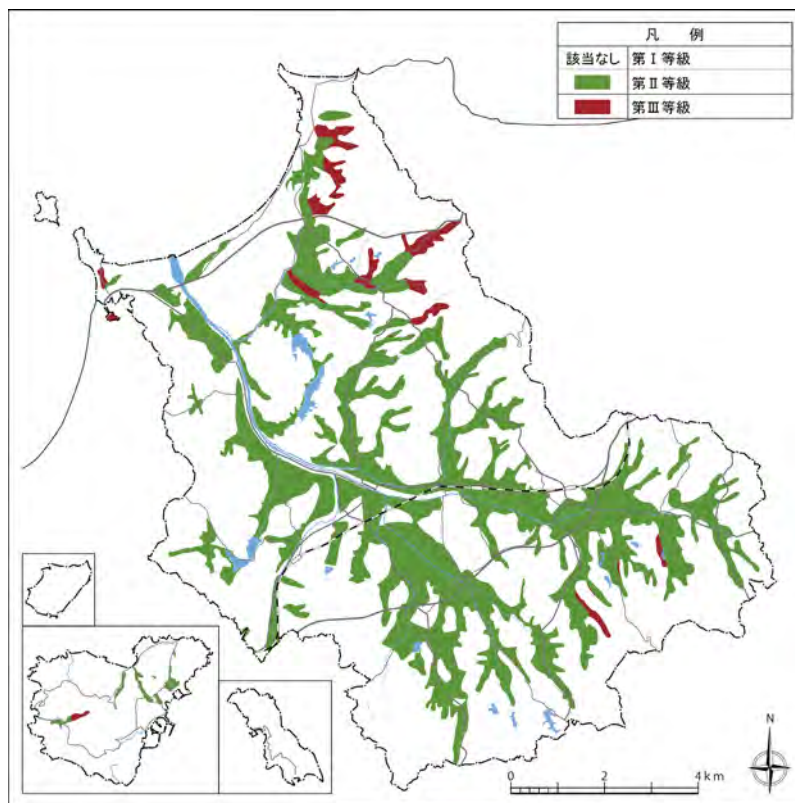


図 表層地質図

〔資料：福岡県土地分類基本調査（S48）（S57）、都市計画基礎調査（H24年度）〕

(5) 土壌



等級	基準
第Ⅱ等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行ううえに、土壌的にみて若干の制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまた土壌悪化の危険性が多少存在する土地。
第Ⅲ等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行ううえに、土壌的にみてかなり大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまた土壌悪化の危険性のかなり大きい土地。

図 土壌生産力図（水田）

〔資料：福岡県立農業試験場「水田及び畑地土壌生産性分級図（S46）」、福岡県土地分類基本調査（S46）〕

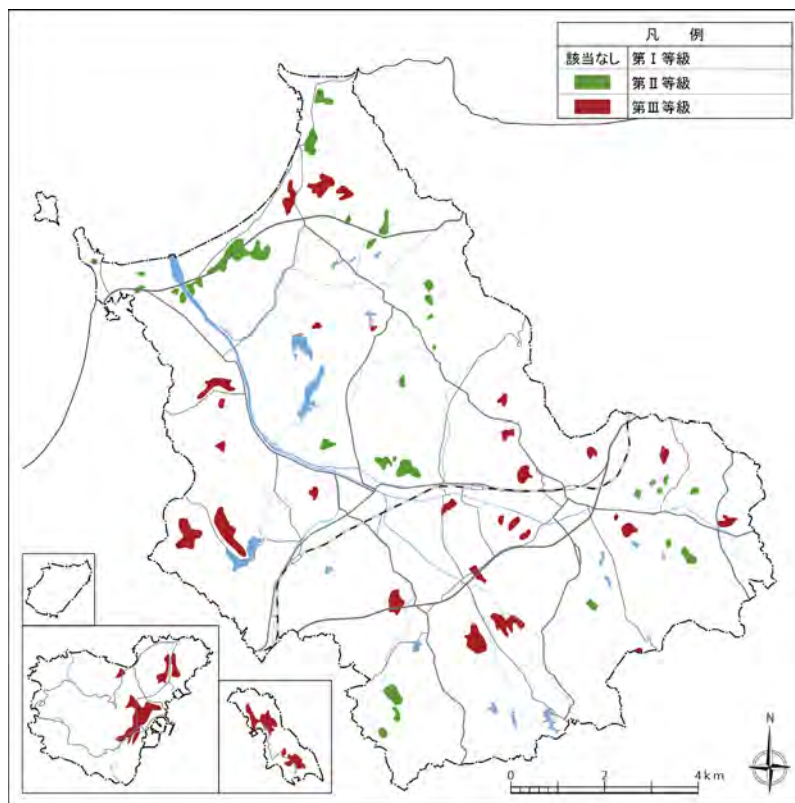
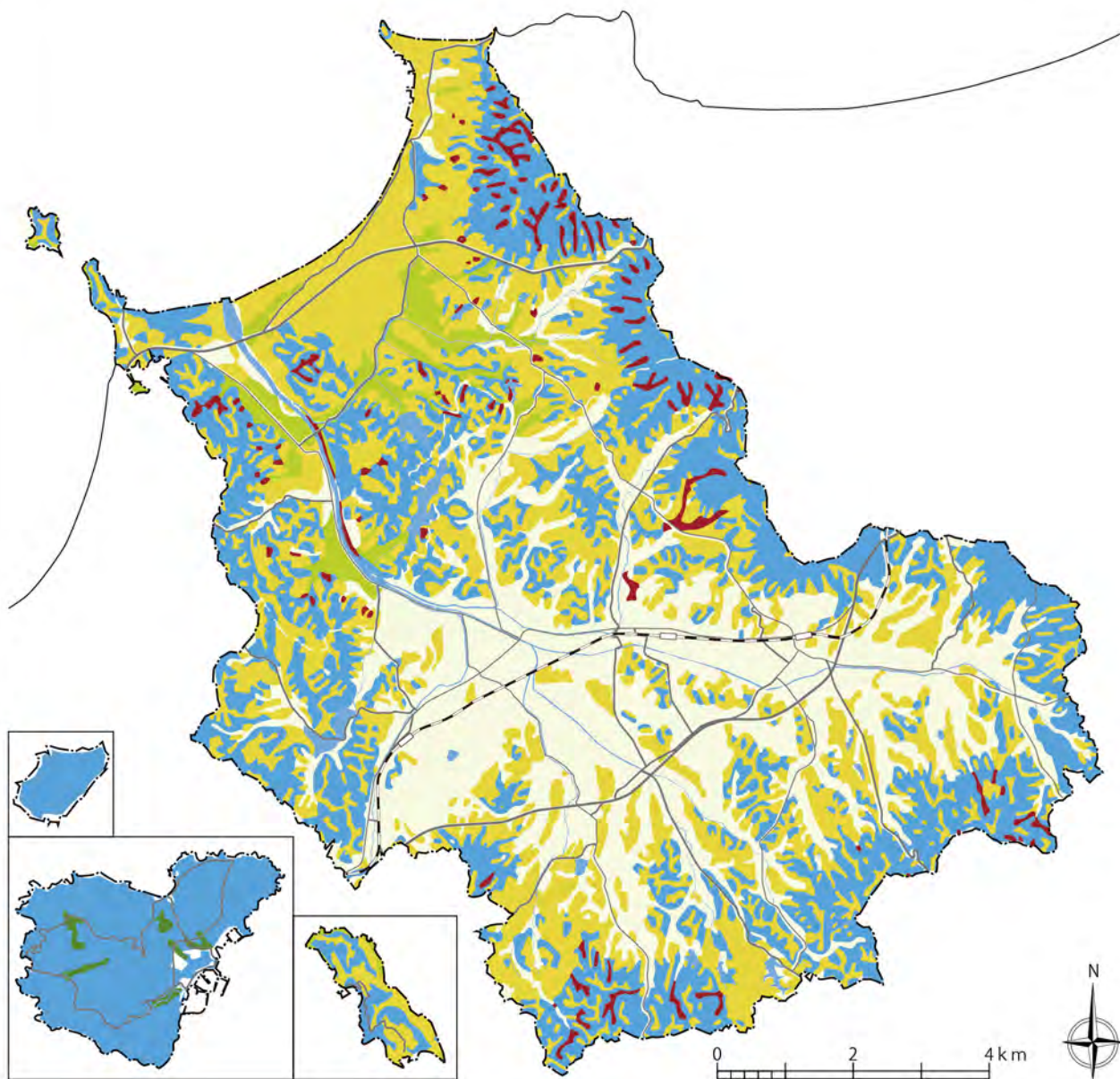


図 土壌生産力図（畑）

〔資料：福岡県立農業試験場「水田及び畑地土壌生産性分級図（S46）」、福岡県土地分類基本調査（S46）〕



凡 例			
	第Ⅰ等級		
	第Ⅱ等級		
	第Ⅲ等級		
	第Ⅳ等級		
	第Ⅴ等級		
	その他		

図 土壤生産力図（林地）
〔資料：福岡県土地分類基本調査（S48）（S57）〕

(6) 現存植生、植生自然度

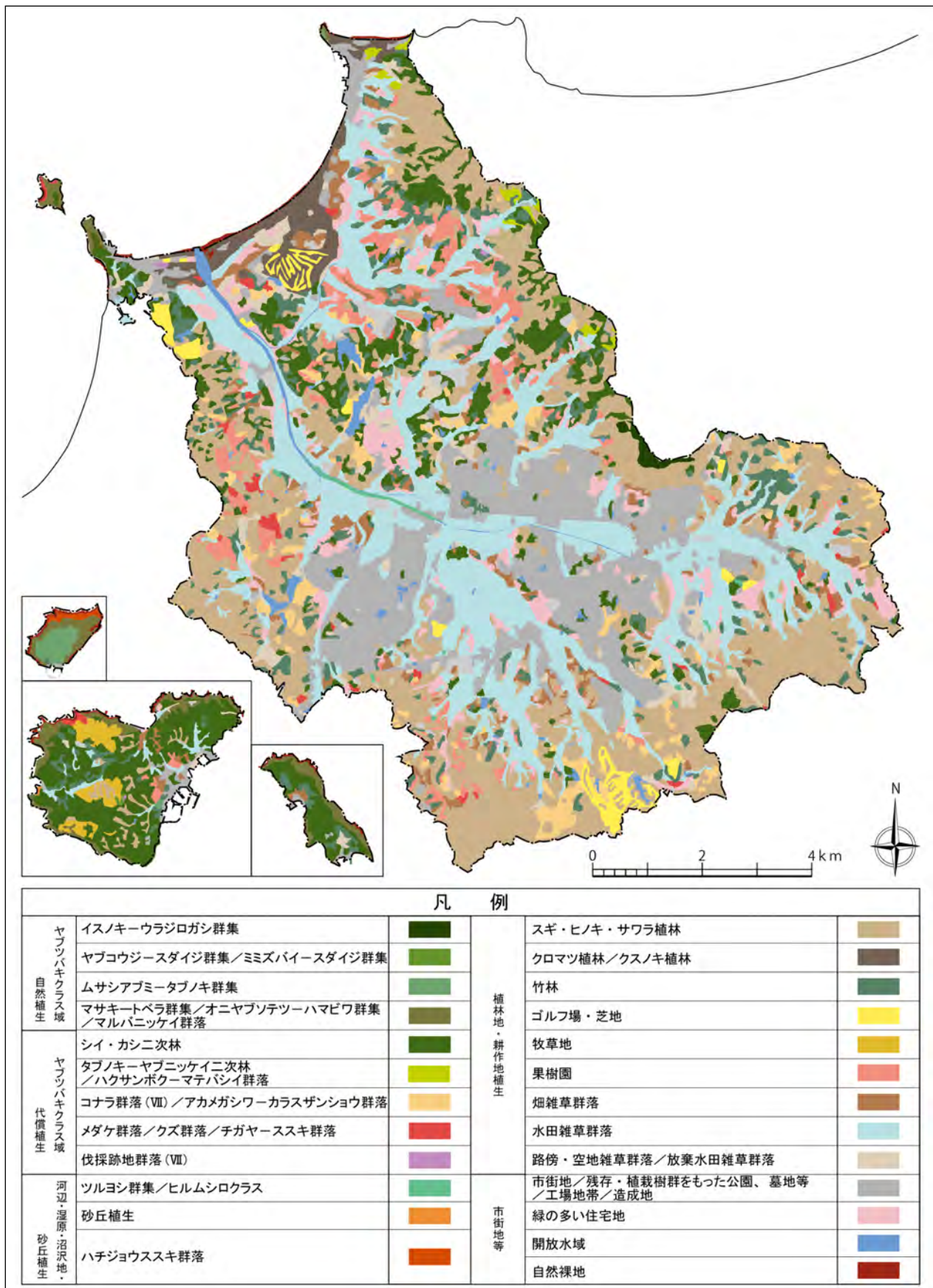
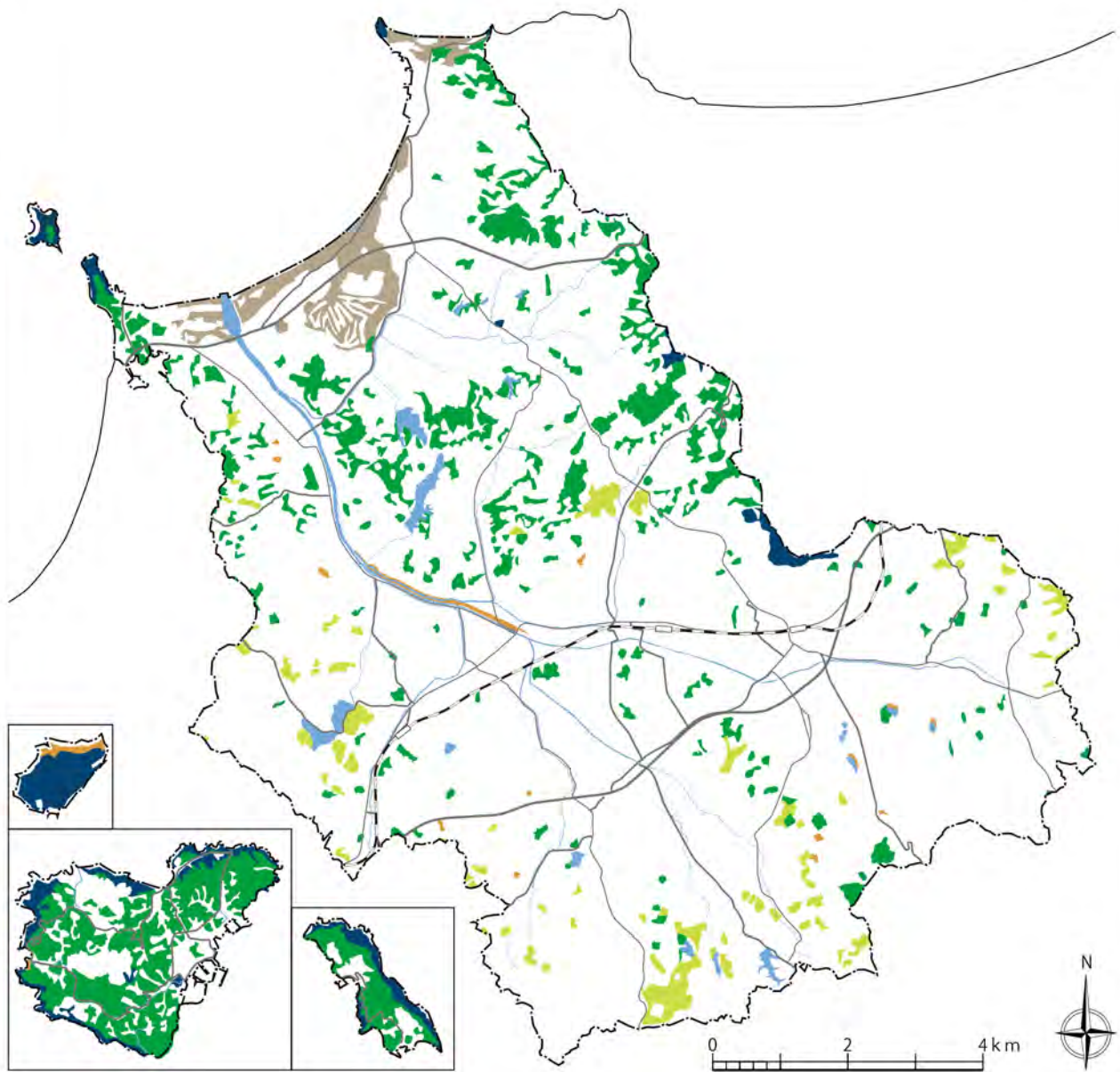


図 植生自然度（自然度の高いものを抜粋表示）
〔資料：環境省第6回自然環境保全基礎調査（H11～16）〕



凡 例						
自然性が高い植生	植生自然度 10	ツルヨシ、砂丘植生など		その他の重要な植生	クロマツ植林【さつき松原など】 (植生自然度 6)	
	植生自然度 9	自然林				
	植生自然度 8	二次林で自然林に近いもの				
	植生自然度 7	二次林（竹林除く）				

注) 自然度 7 以上を図示

図 植生自然度（自然度の高いものを抜粋表示）
[資料：環境省第 6 回自然環境保全基礎調査（H11～16）]

(7) 貴重な自然の位置

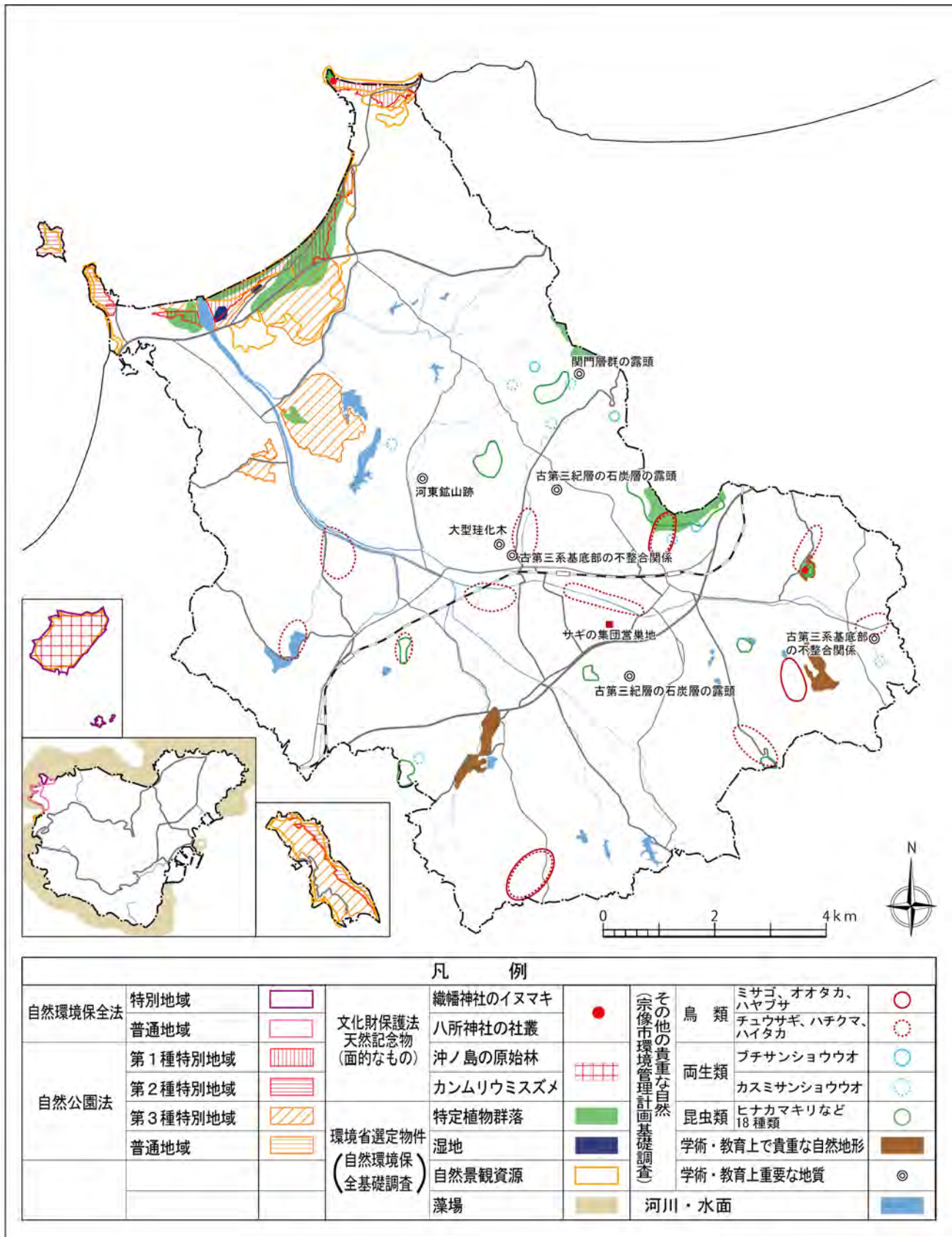
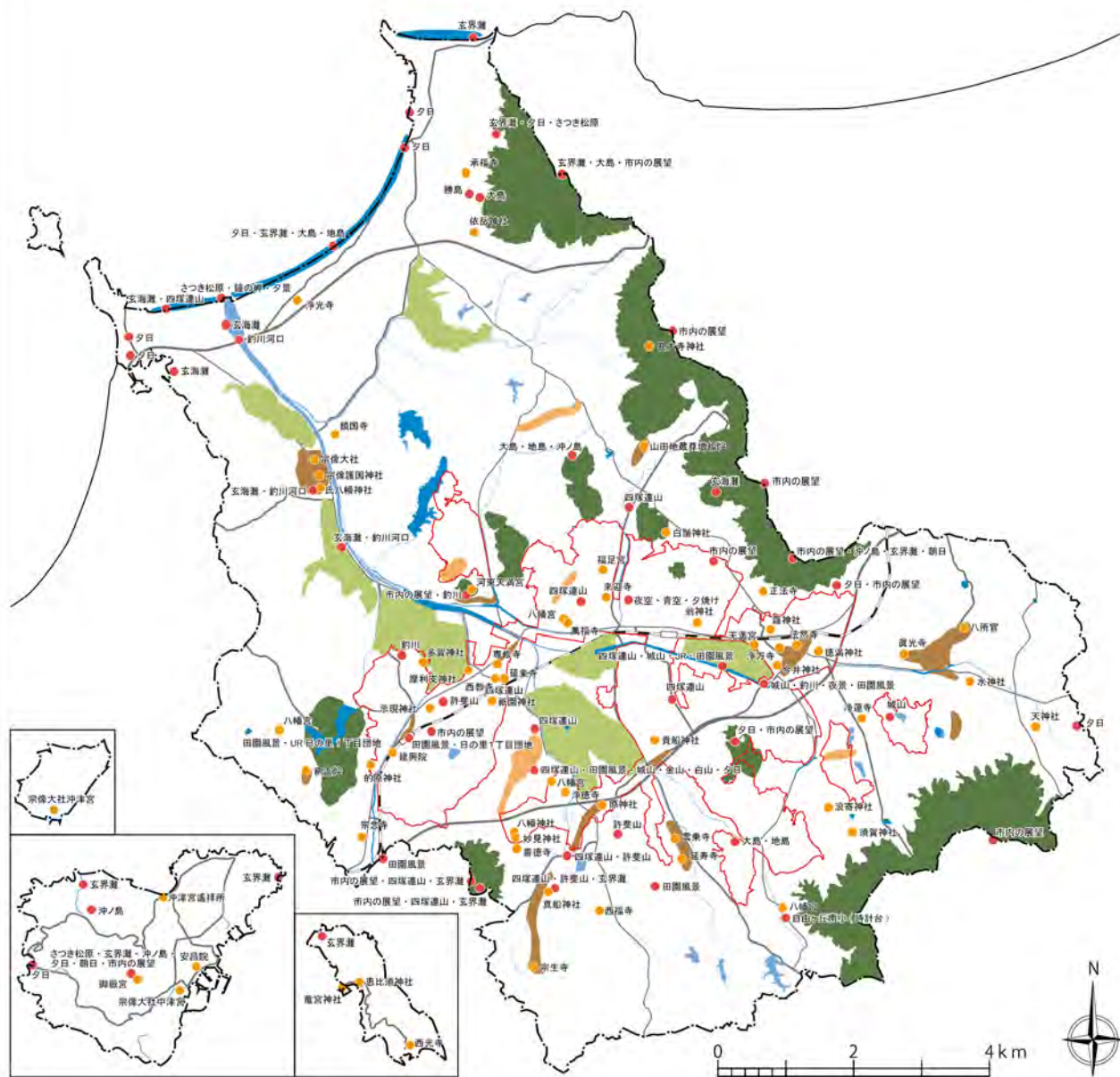


図 優れた自然の位置

資料：宗像市環境管理計画基礎調査（H8）、第2～5回環境省自然環境保全基礎調査（S53～H10）、
玄海国定公園（福岡県地域）公園計画図（H12）

(8) 良好な景観資源の位置



凡 例			
	代表的な樹林		河川・水面
	代表的な水辺		市街化区域
	代表的な農地		
	優れた歴史景観		
	美しい街なみ		
	主な社寺		
	主な眺望点		

図 良好な景観資源

[資料：おすすめ景観マップ（H21年度）、都市計画基礎調査（H24年度）]

(9) 既往浸水区域

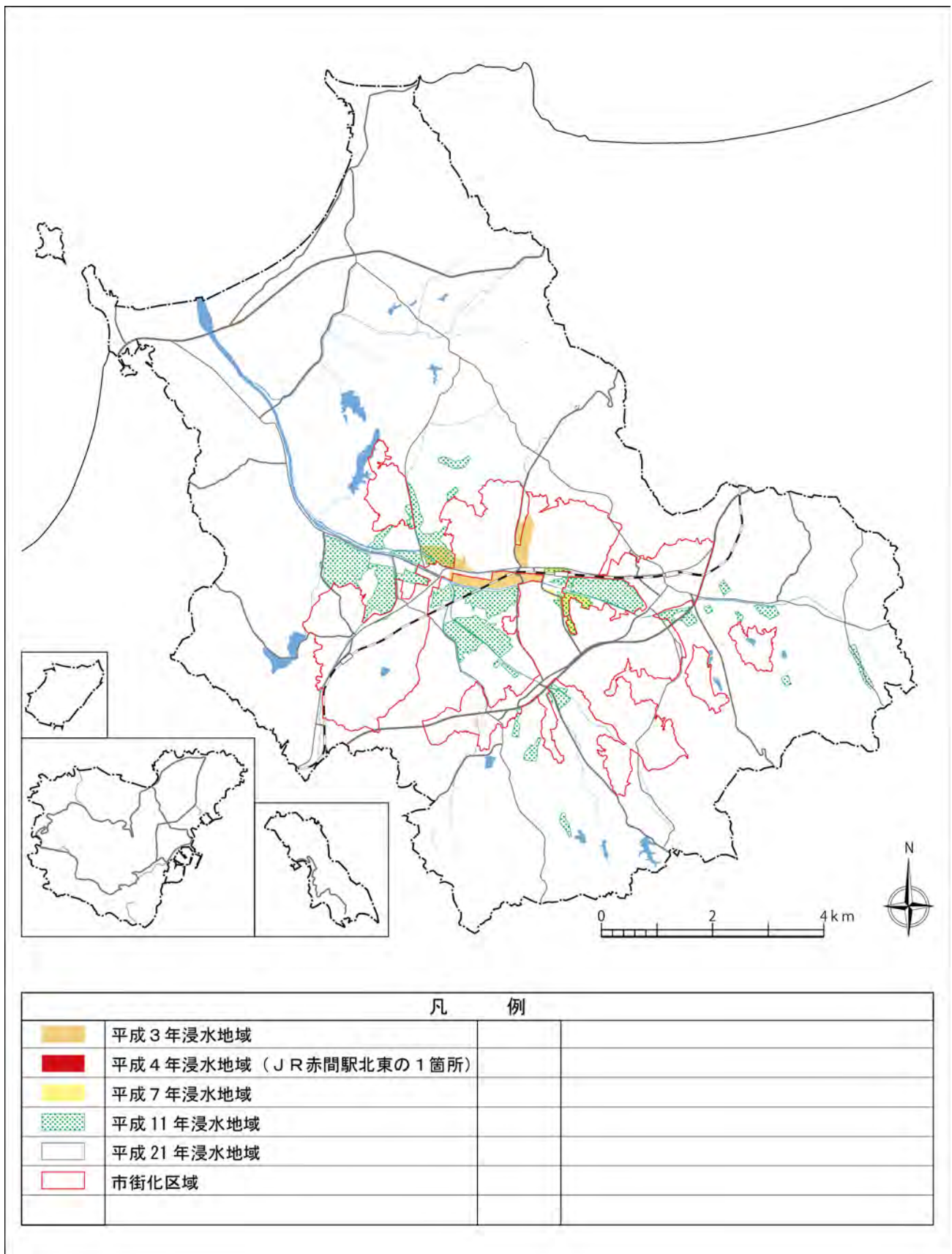


図 既往浸水区域

[資料：都市計画基礎調査 (H24 年度)、宗像市施設課]

1-3 社会条件

(1) 産業別就業人口

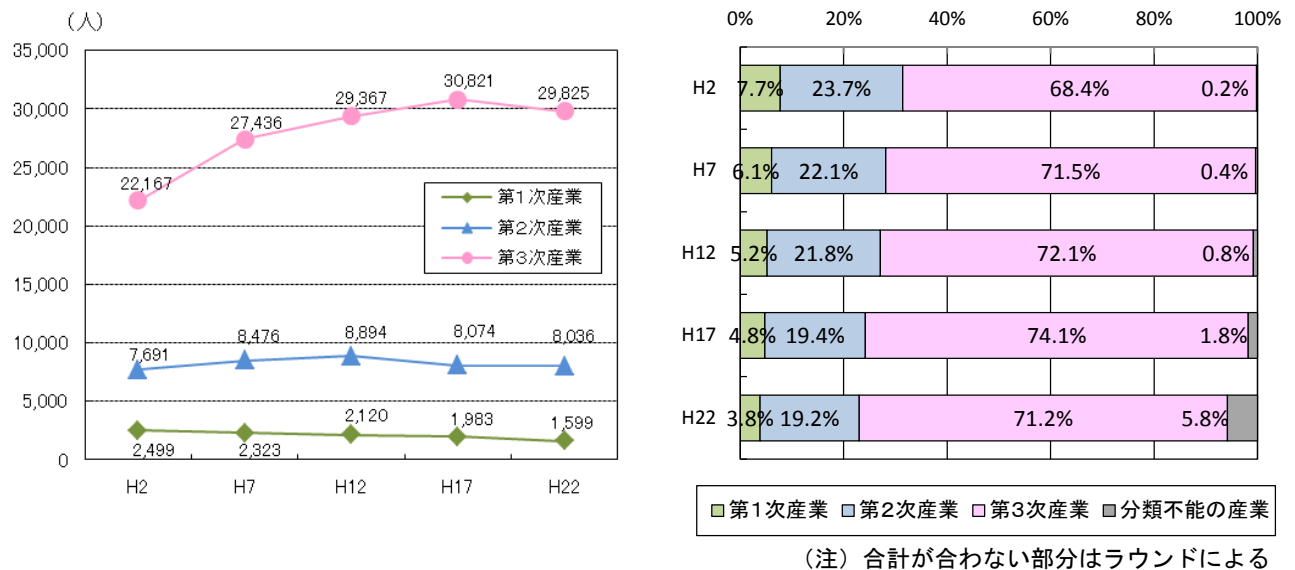


図 産業別人口の推移 [資料：国勢調査]

(2) 農家数及び農業粗生産額の推移

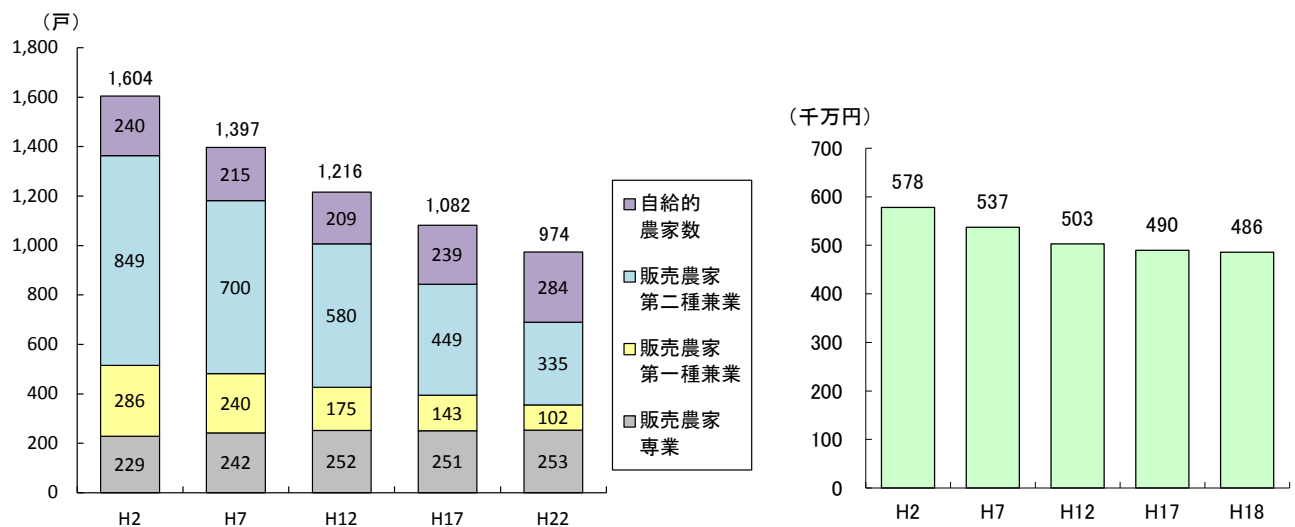


図 農家数の推移
[資料：福岡県統計年鑑]

図 農業粗生産額の推移
[資料：福岡県統計年鑑]

※平成 18 年で掲載終了。
※元データの農林水産省「生産農業所得統計」でも公表されていない。

(3) 漁業経営体数及び漁獲高の推移

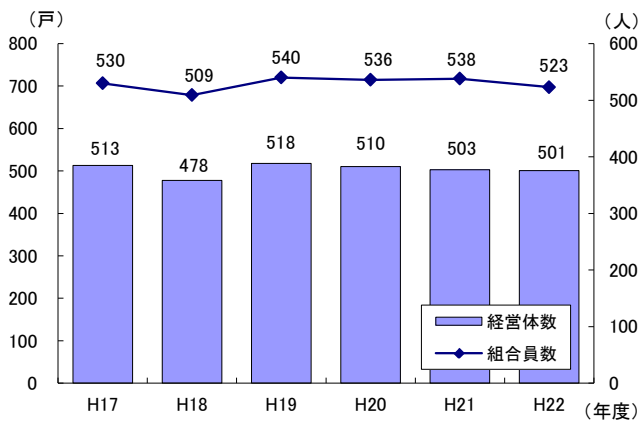


図 漁業経営体数の推移 [資料：宗像市統計書]

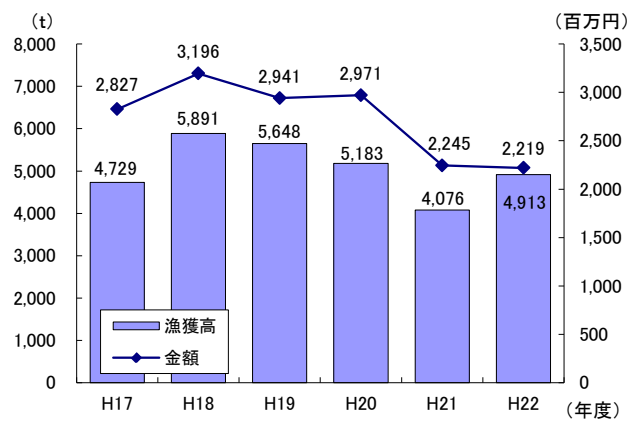


図 漁獲高の推移 [資料：宗像市統計書]

(4) 製造出荷額及び従業者数の推移

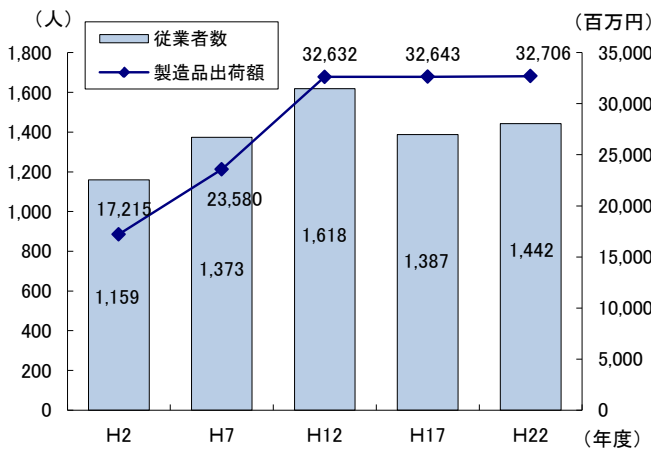


図 製造出荷額及び従業者数の推移 [資料：工業統計調査]

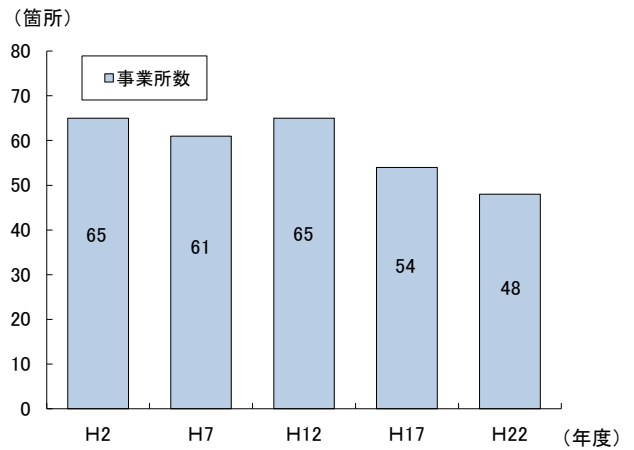


図 事業所数の推移 [資料：工業統計調査]

(5) 年間販売額及び従業者数の推移

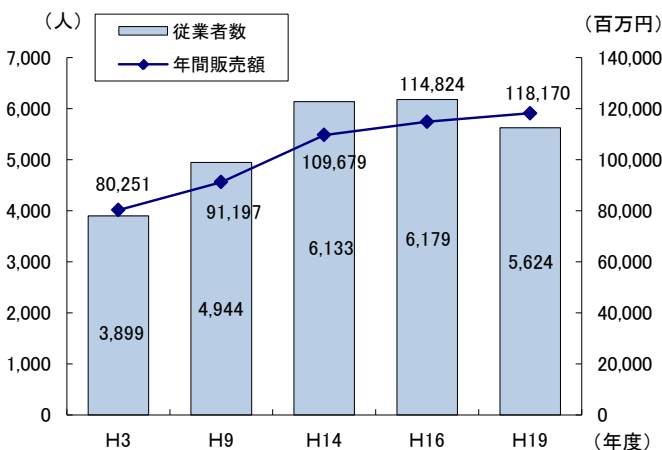


図 年間販売額及び従業者数の推移 [資料：商業統計調査]

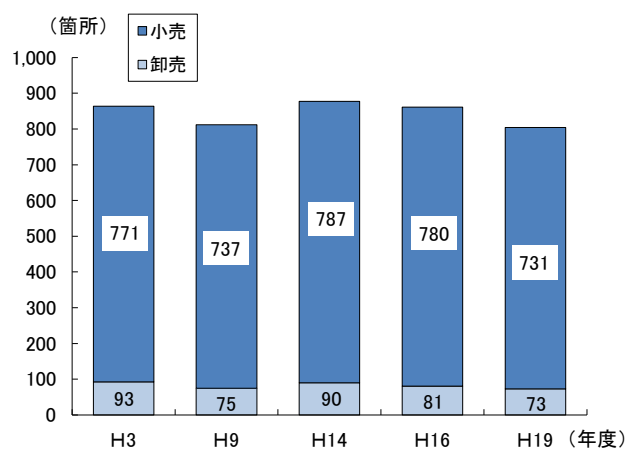
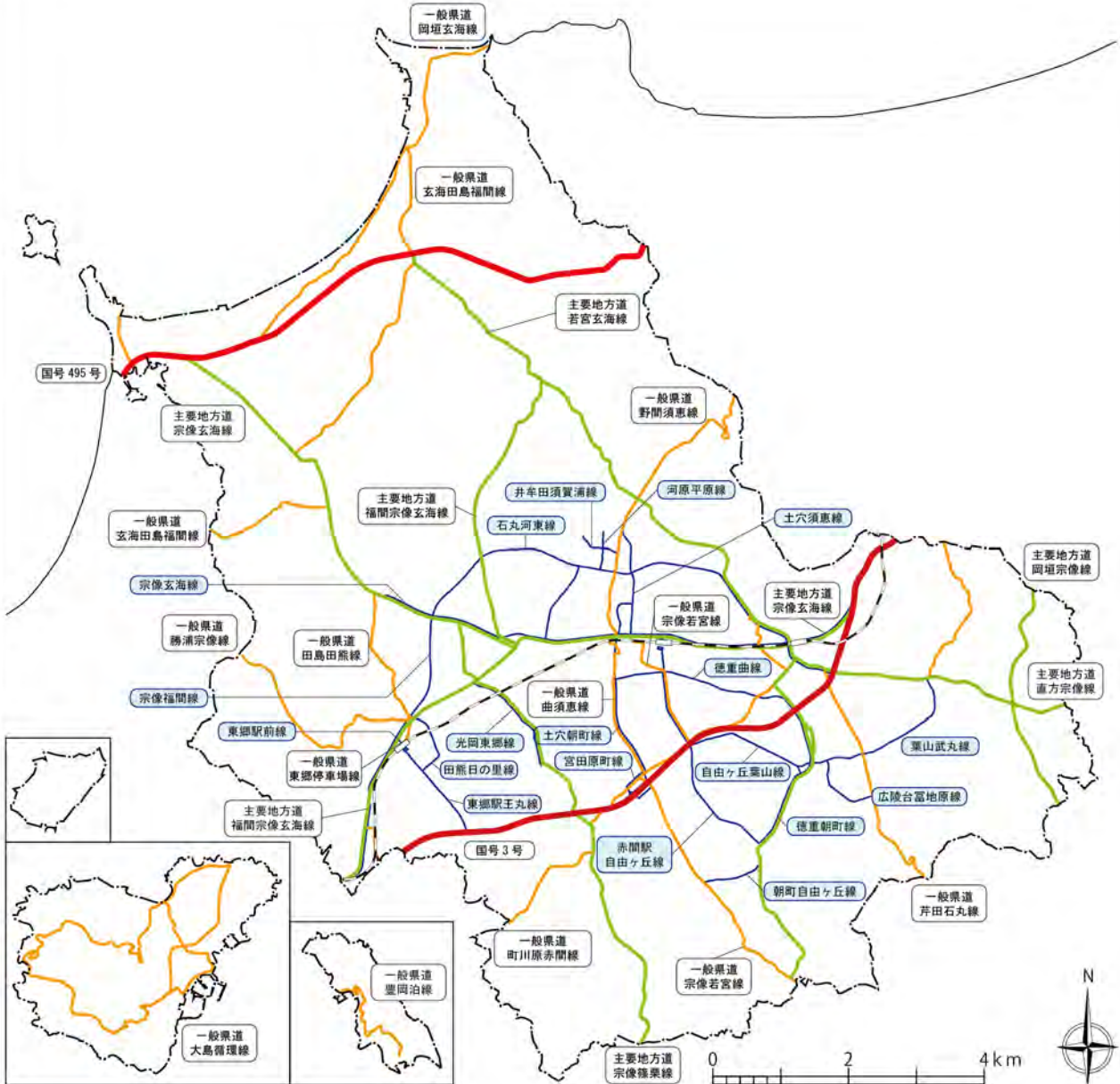


図 商店数の推移 [資料：商業統計調査]

(6) 道路網、交通利便性



凡 例			
—	国道		
—	主要地方道		
—	県道		
—	都市計画道路		

図 道路網

[資料：都市計画基礎調査 (H24 年度)]

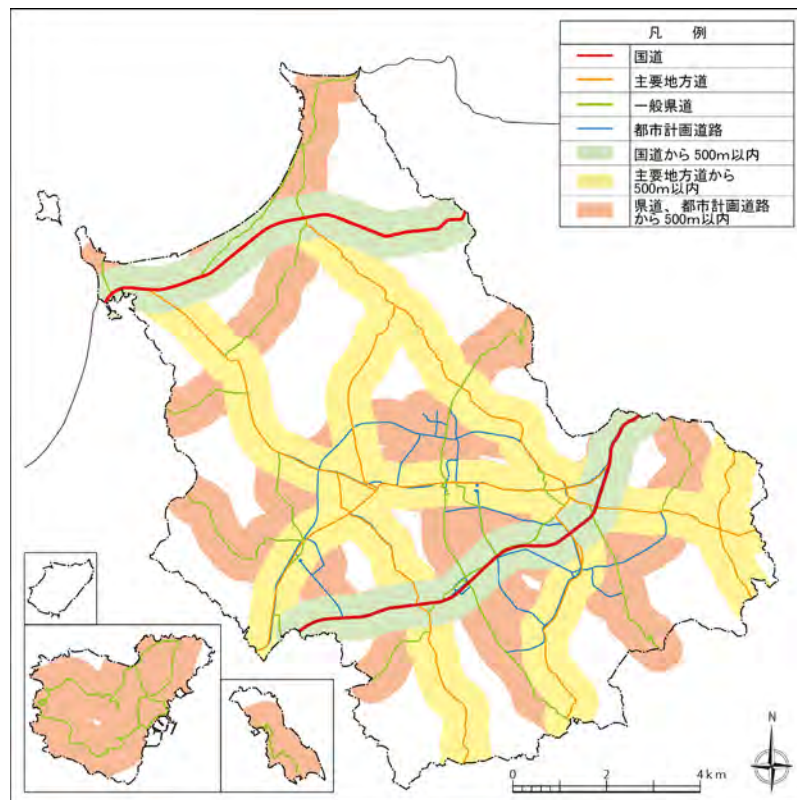


図 道路からの距離（道路種別）
〔資料：都市計画基礎調査（H24 年度）〕

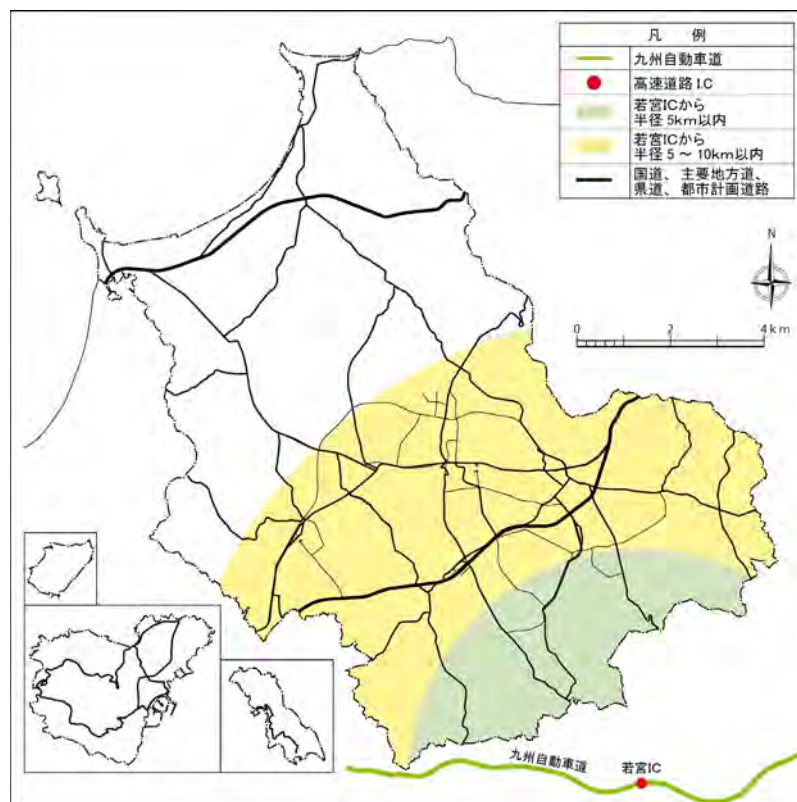


図 インターチェンジからの距離
〔資料：都市計画基礎調査（H24 年度）〕

(7) JR利用客数

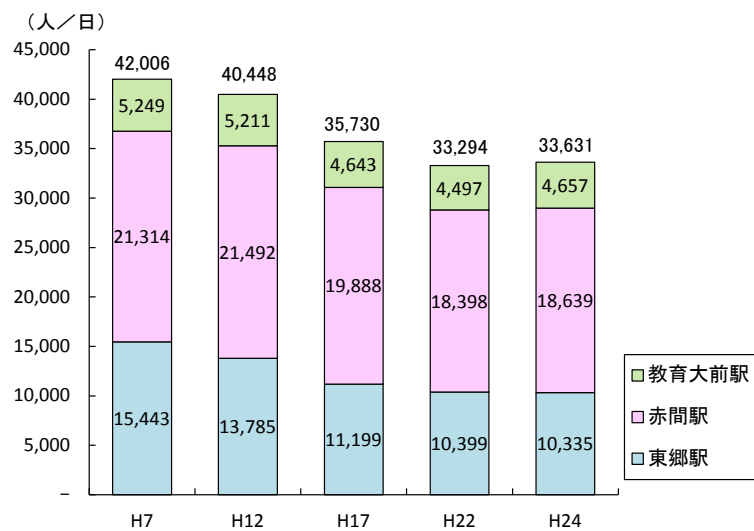


図 JR利用客数の推移

[資料：九州旅客鉄道株式会社（H24年度）]

2012 H24	駅名	乗車人員 (人/日)
1	博多	108,867
2	小倉	35,942
3	鹿児島中央	19,973
4	大分	16,982
5	折尾	16,322
6	黒崎	15,456
7	熊本	12,774
8	佐賀	11,949
9	吉塚	11,775
10	香椎	11,732
11	福工大前	11,198
12	長崎	10,724
13	千早	9,930
14	戸畑	9,825
15	赤間	9,296

表 駅別乗車人員上位 15 位

[資料：九州旅客鉄道株式会社（H24年度）]

(8) 公共交通機関

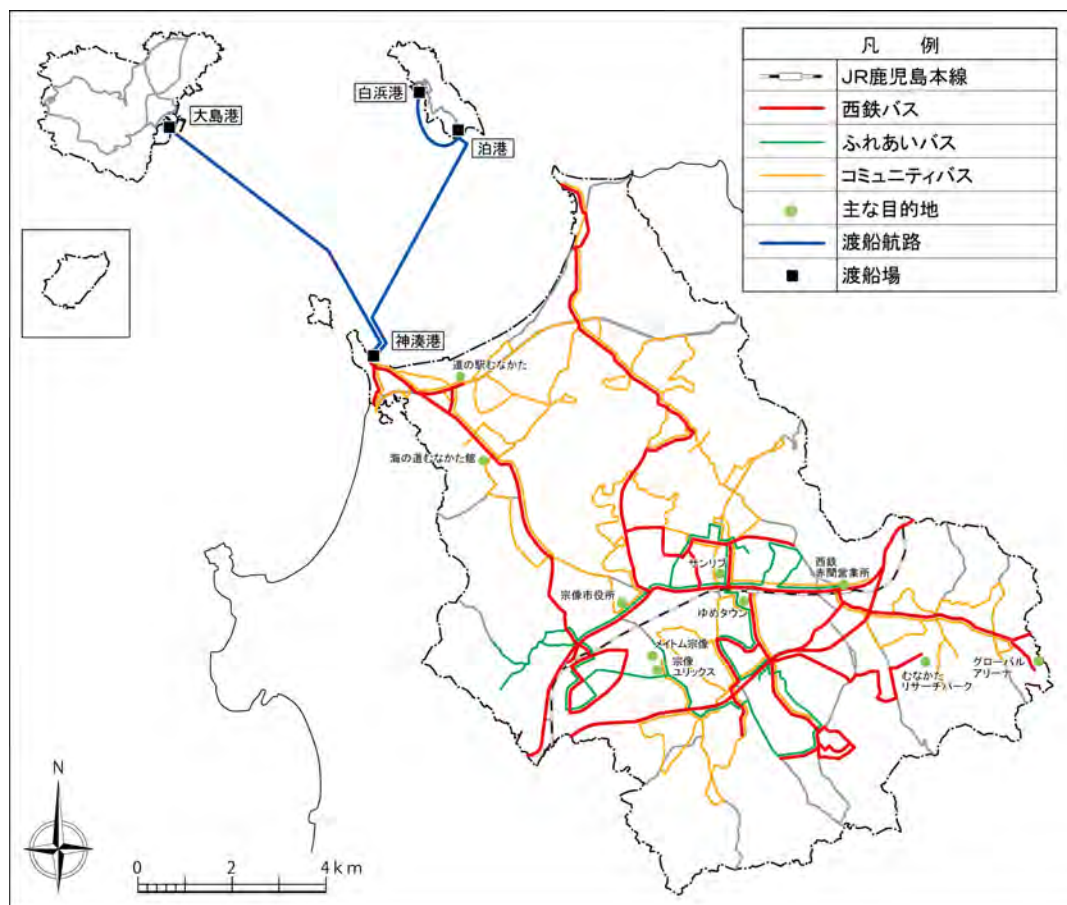


図 バス路線・渡船航路

[資料：西日本鉄道株式会社、宗像市生活安全課・渡船課（H25）]

(9) 土地利用に関わる法適用区域

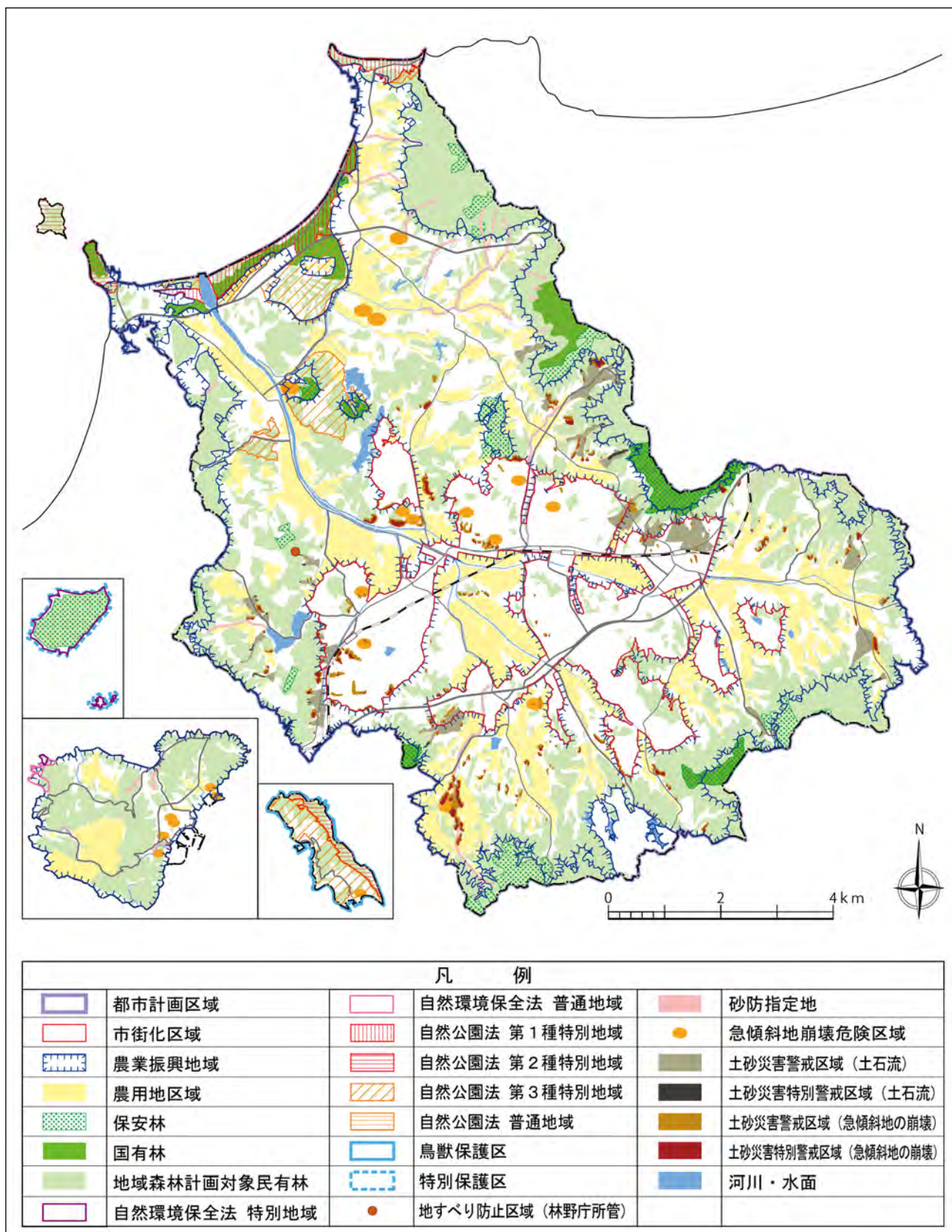
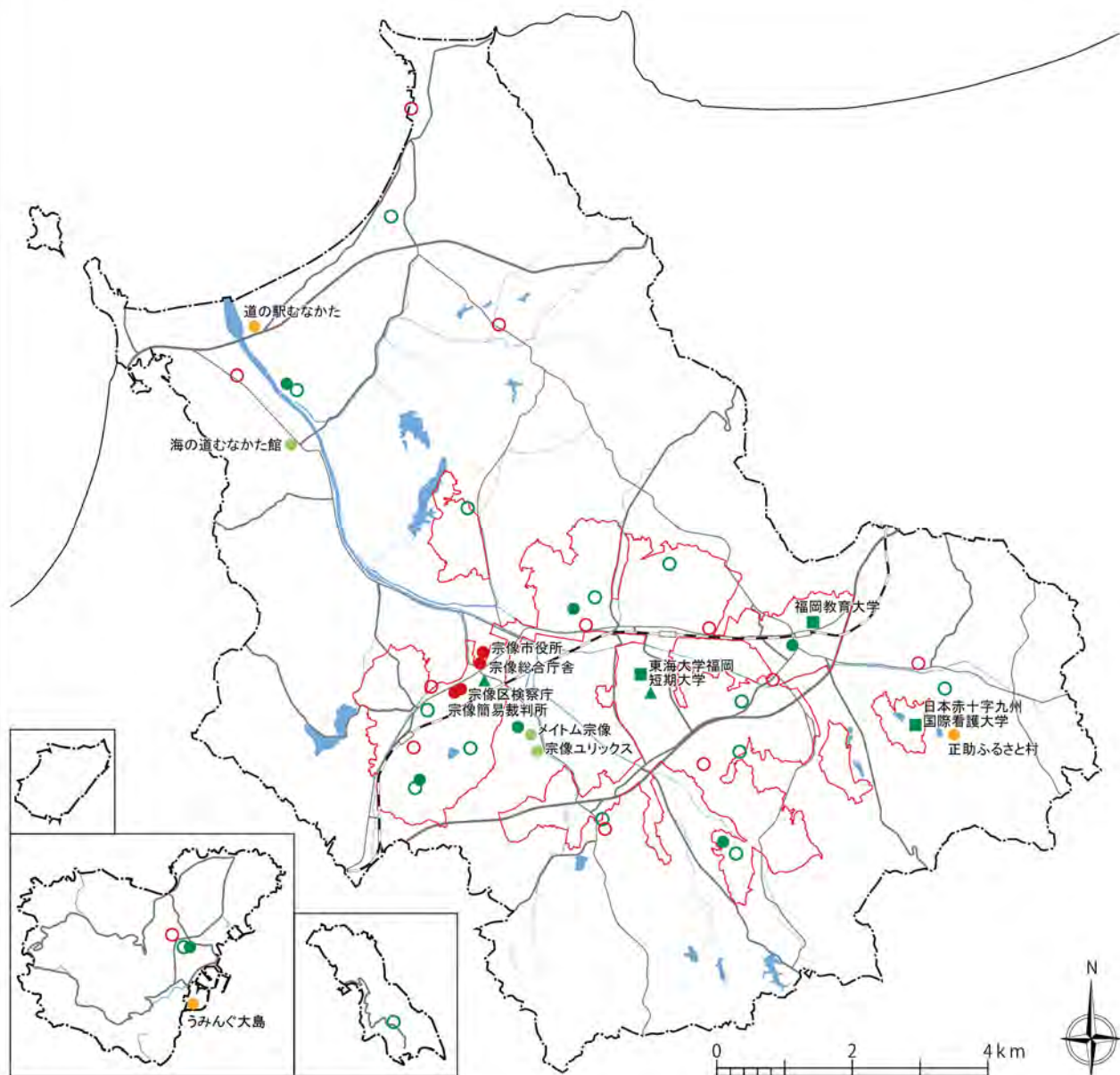


図 法規制現況

資料：都市計画基礎調査（H24年度）、宗像市計画総括図、宗像市土地利用計画図、国土交通省国土政策局GISホームページ森林地域データ（H18年度）、福岡県北九州県土整備事務所管内図（H24年）、福岡県鳥獣保護区等位置図（H25年度）、福岡県土砂災害警戒区域図

(10) 公共公益施設の位置



凡		例	
●	官公庁	●	観光施設
●	文化・交流施設		
■	大学		
▲	高校		
●	中学校		
○	小学校		
○	コミュニティ・センター		

図 公共公益施設の分布
〔資料：市資料（H25）〕

(11) 大規模小売店舗などの位置

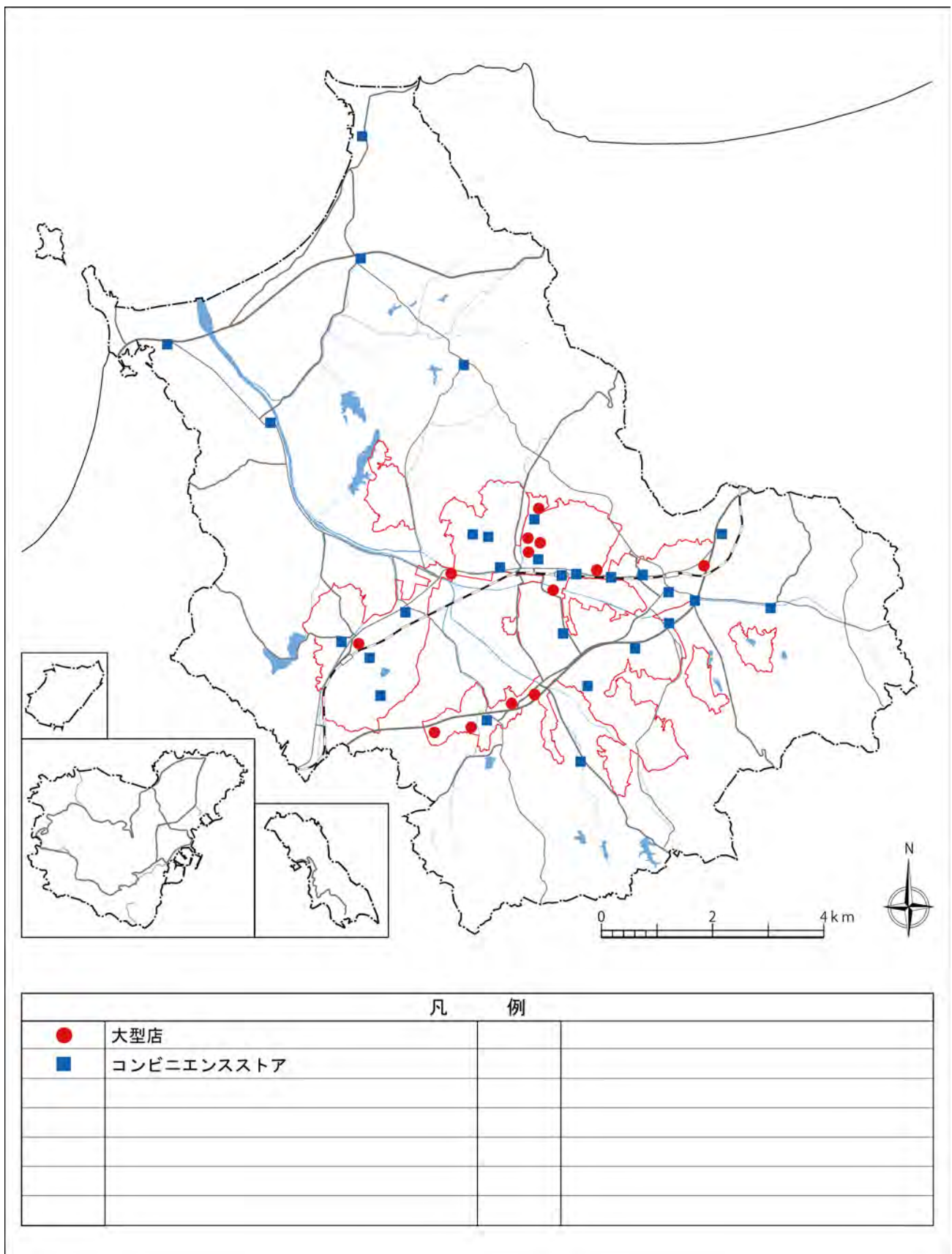


図 大規模小売店舗及びコンビニエンスストアの分布

〔資料：都市計画基礎調査（H24 年度）、福岡県大規模小売店舗立地法に基づく届出一覧〕

(12) 都市公園の位置

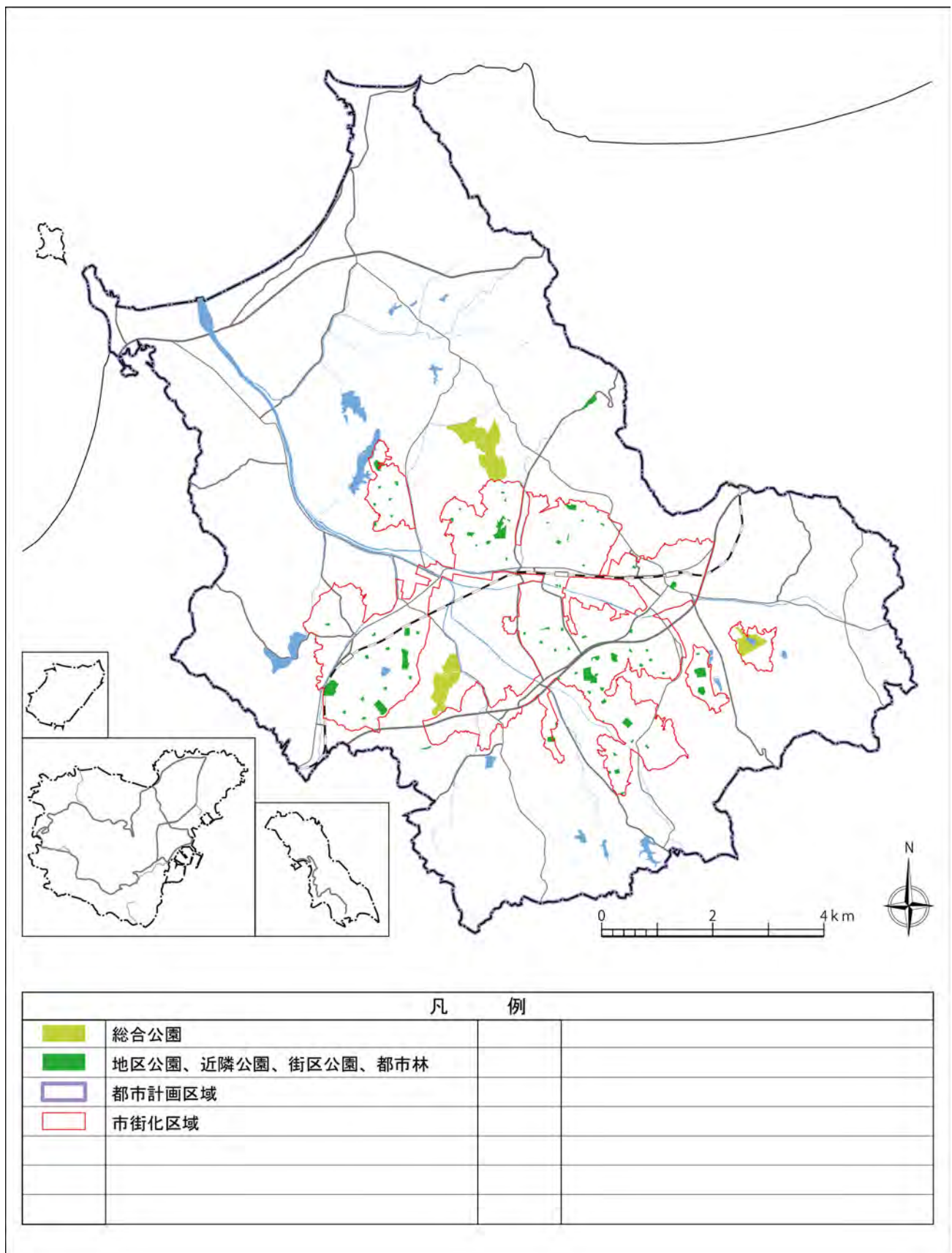


図 都市公園の位置

〔資料：都市計画基礎調査（H24 年度）〕

(13) 屋外レクリエーション施設の位置

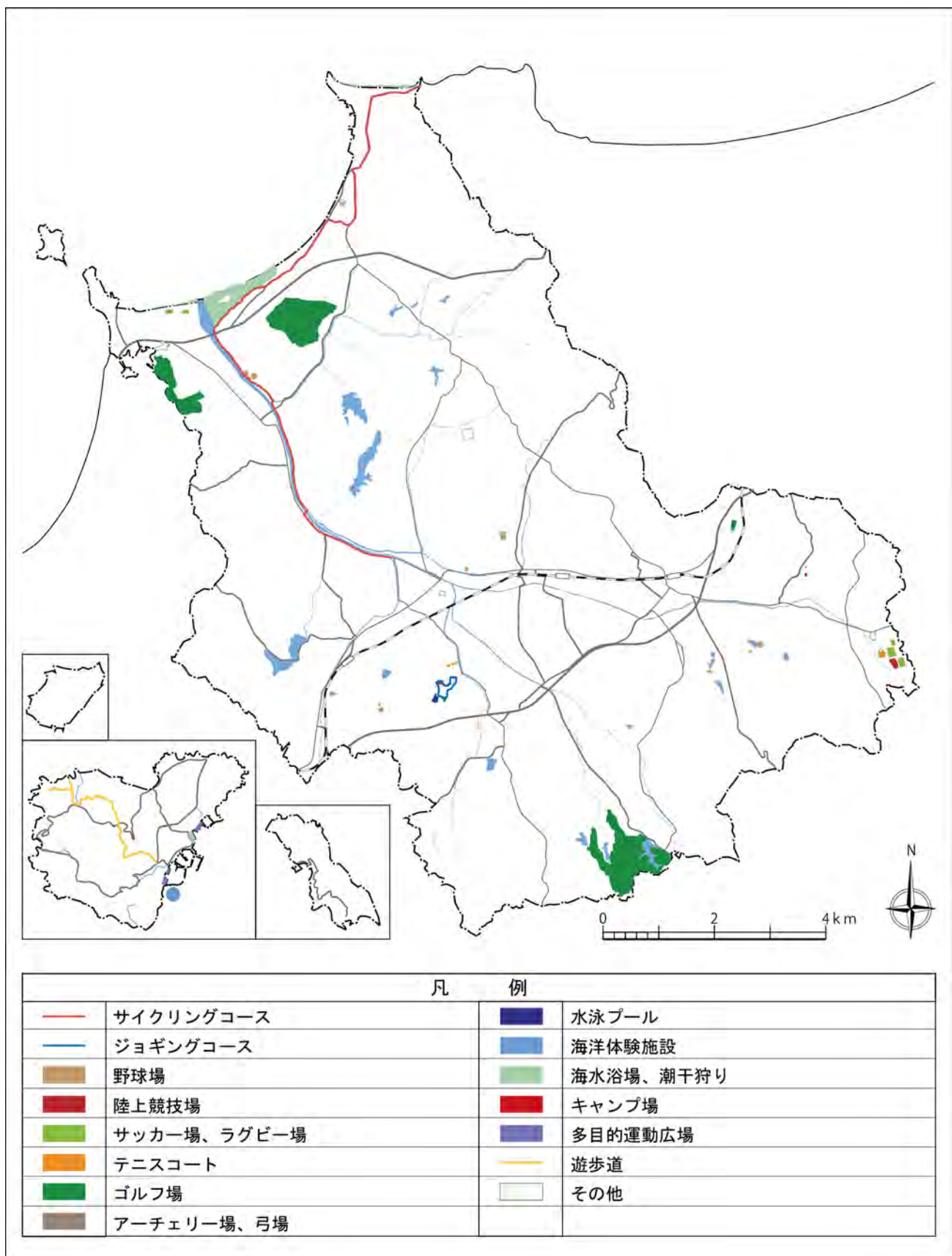


図 屋外レクリエーション施設の位置

〔資料：都市計画基礎調査（H24 年度）、宗像大島MAP（平成 23 年度）〕

(14) 上水道整備状況

表 上水道普及率などの推移（大島、地島の簡易水道を含む）

			H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
行政区域内人口	(A)	人	95,349	95,160	95,287	95,734	95,996	96,164
給水区域人口	(B)	人	92,784	92,660	92,824	93,570	93,664	93,888
給水人口	(C)	人	84,559	84,384	84,506	83,807	83,947	84,192
普及率	(C/A)	%	88.7%	88.7%	88.7%	87.5%	87.4%	87.6%
給水区域内の普及率	(C/B)	%	91.1%	91.1%	91.0%	89.6%	89.6%	89.7%

〔資料：宗像地区事務組合〕

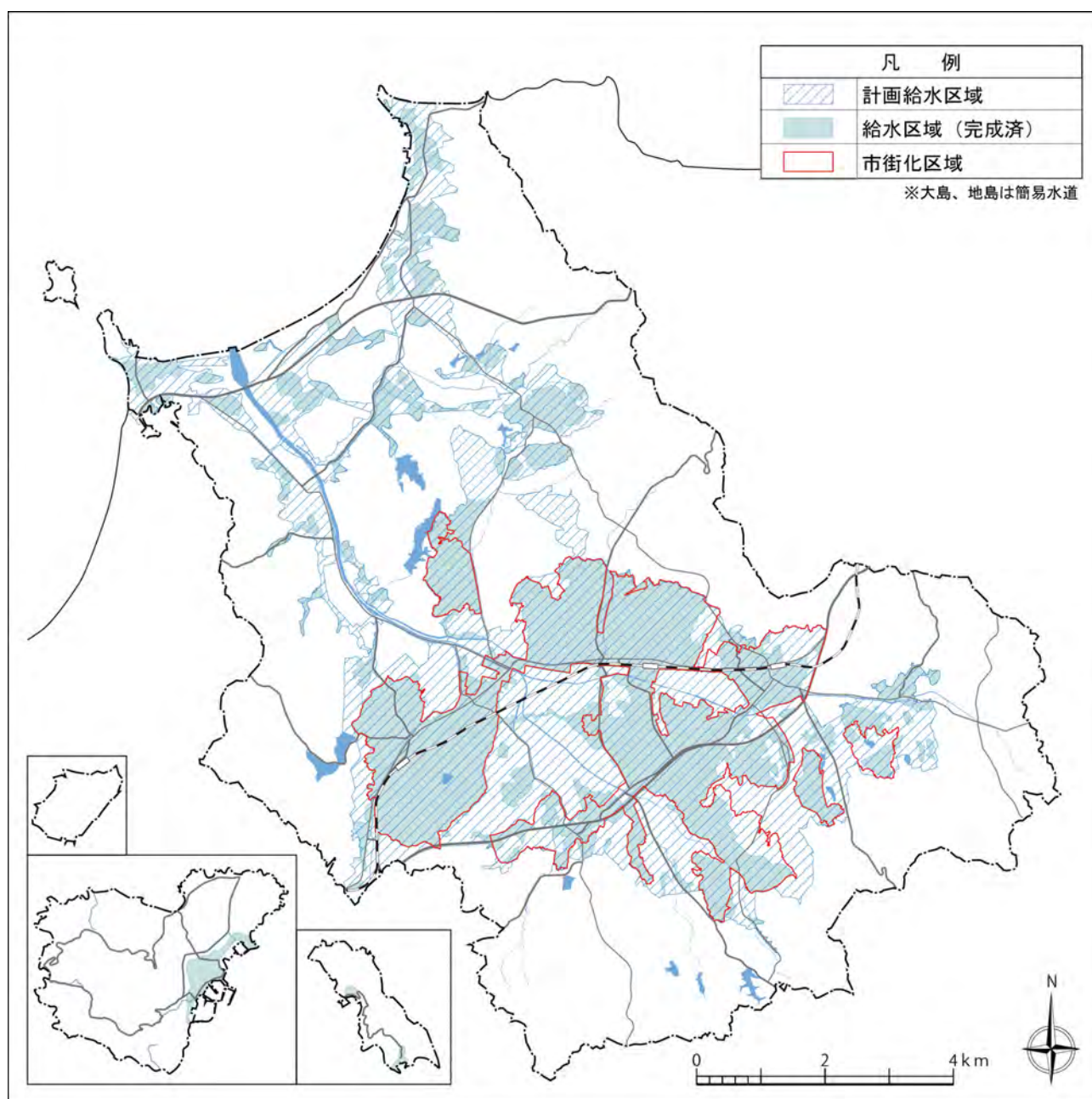


図 上水道整備状況

〔資料：都市計画基礎調査（H24年度）〕

(15) 下水道施設整備状況

表 下水道施設の整備状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

			(単位: ha、%)				(単位: 戸、%)			
			全体計画 区域面積 (A)	事業認可 区域面積 (B)	供用面積 (C)	整備率 (C/A)	行政区 域内戸数 (D)	供用区域 内戸数 (E)	普及率 (E/D)	
宗像地域	公共下水道	汚水	2,496	2,373	2,334	93.5%	宗像市	39,612	39,030	98.5%
		雨水	2,496	2,373	1,643	65.8%	宗像地域	35,526	35,318	99.4%
玄海地域	特定環境保全公共下水道		266	266	242	91.0%	玄海地域	3,747	3,380	90.2%
	漁業集落排水処理施設		43	43	43	100.0%	大島地域	348	332	95.4%
大島地域	漁業集落排水処理施設		30	30	30	100.0%				

〔資料：下水道課〕

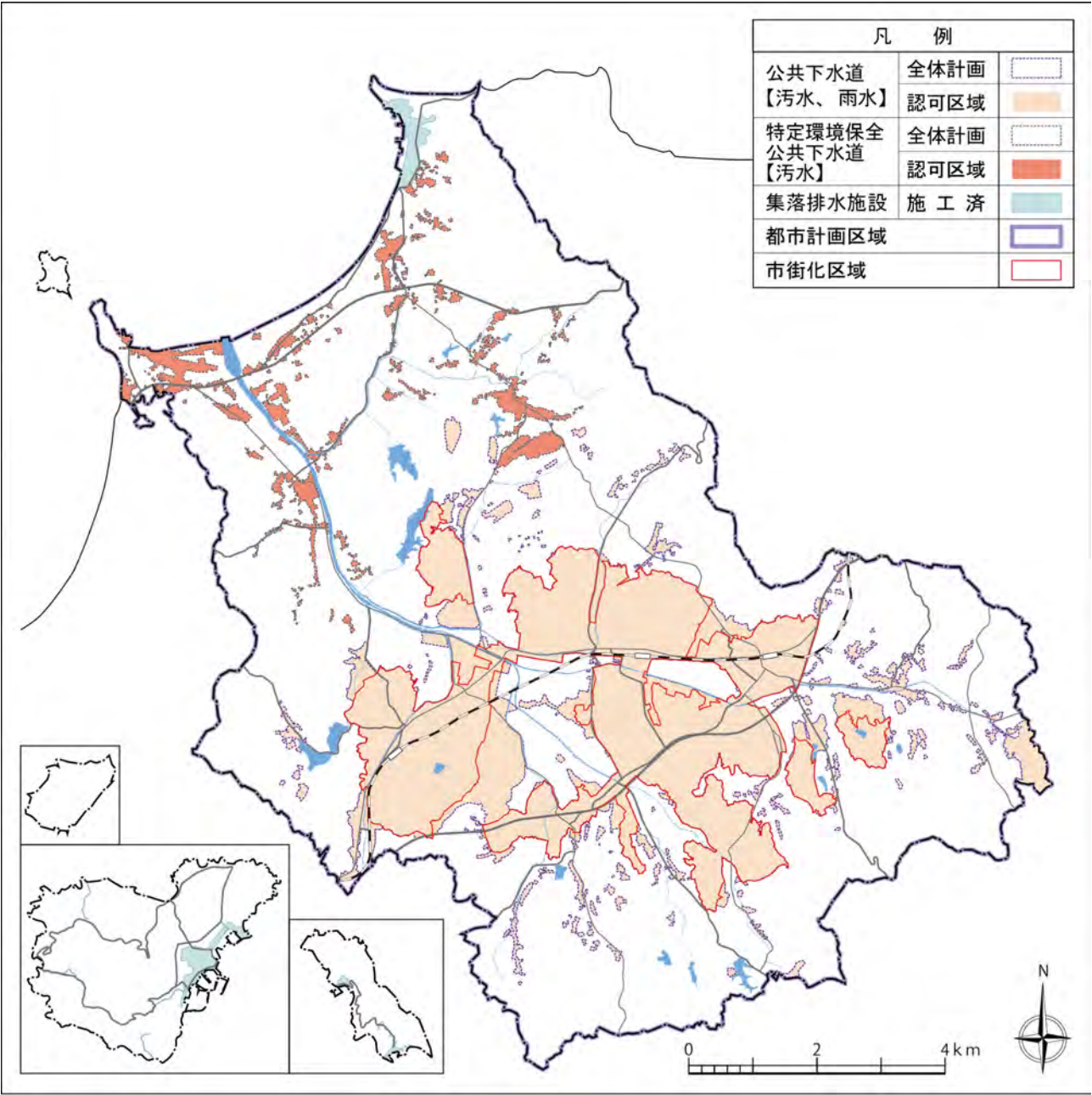


図 下水道施設整備状況
〔資料：都市計画基礎調査 (H24 年度)〕

(16) 農業振興地域及び農用地区域

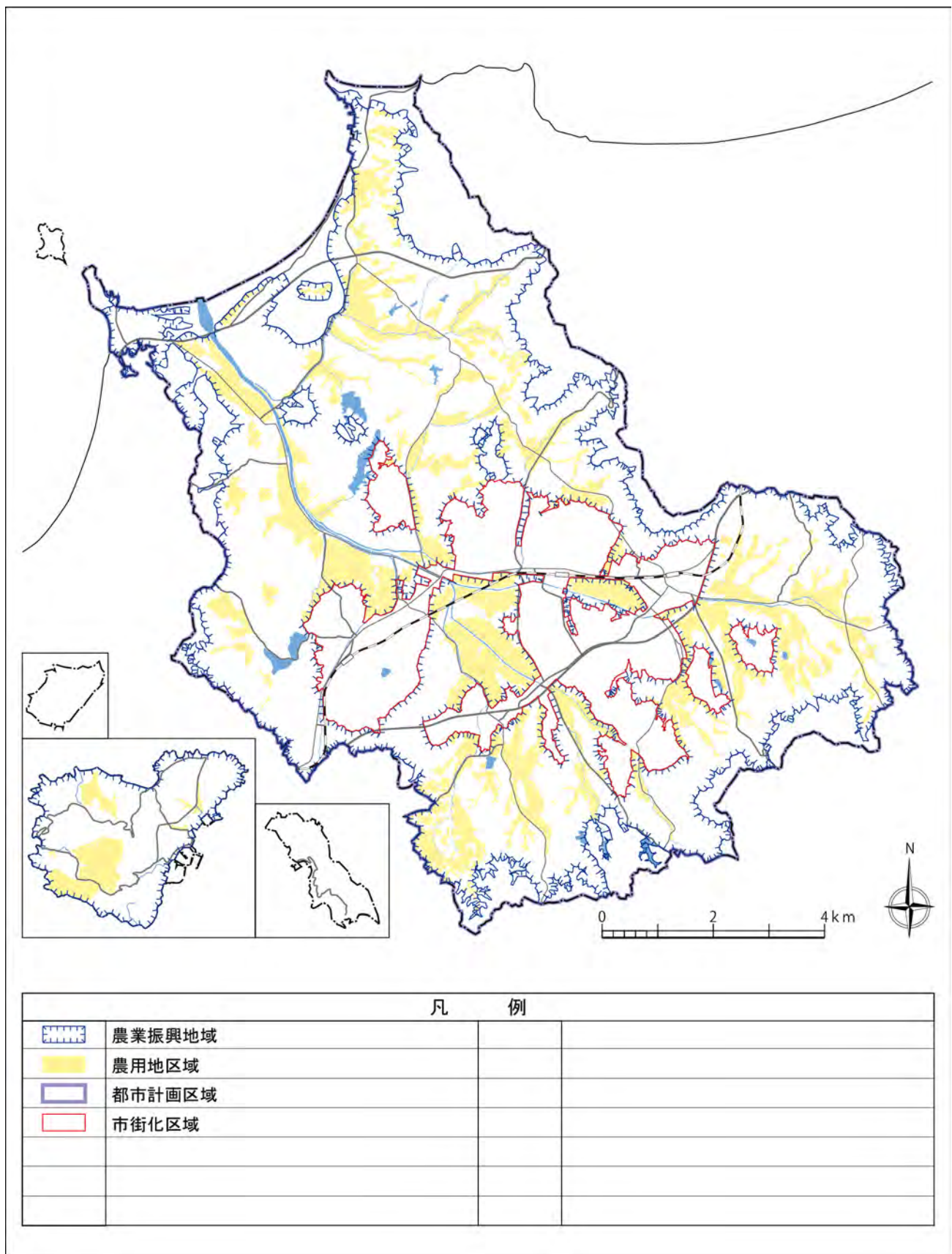


図 農業振興地域及び農用地区域

〔資料：都市計画基礎調査（H24 年度）、宗像市土地利用計画図〕

(17) 農業生産基盤整備状況

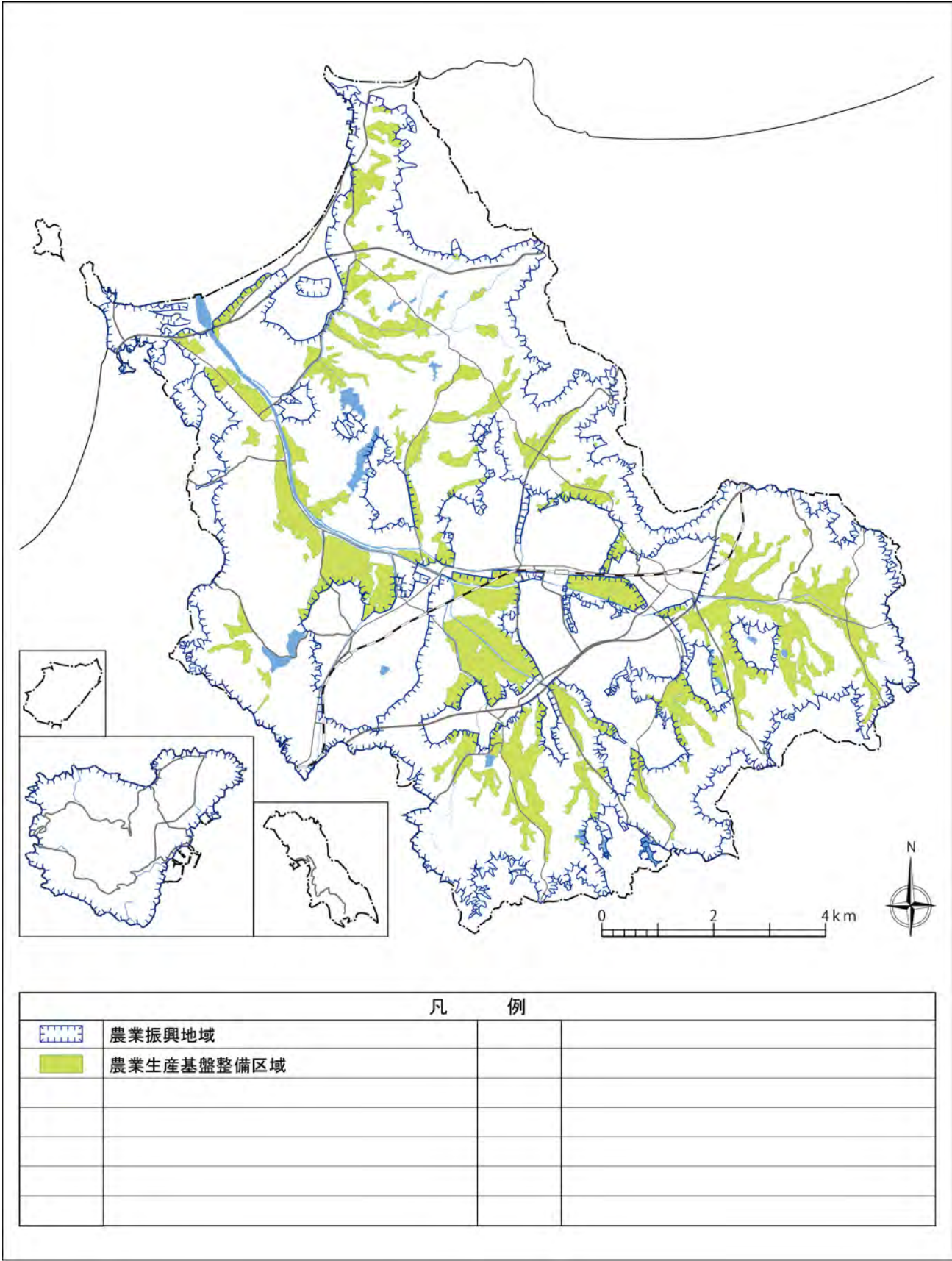


図 農業生産基盤整備状況
〔資料：都市計画基礎調査（H24 年度）〕

1-4 歴史・文化的条件

(1) 指定文化財の位置

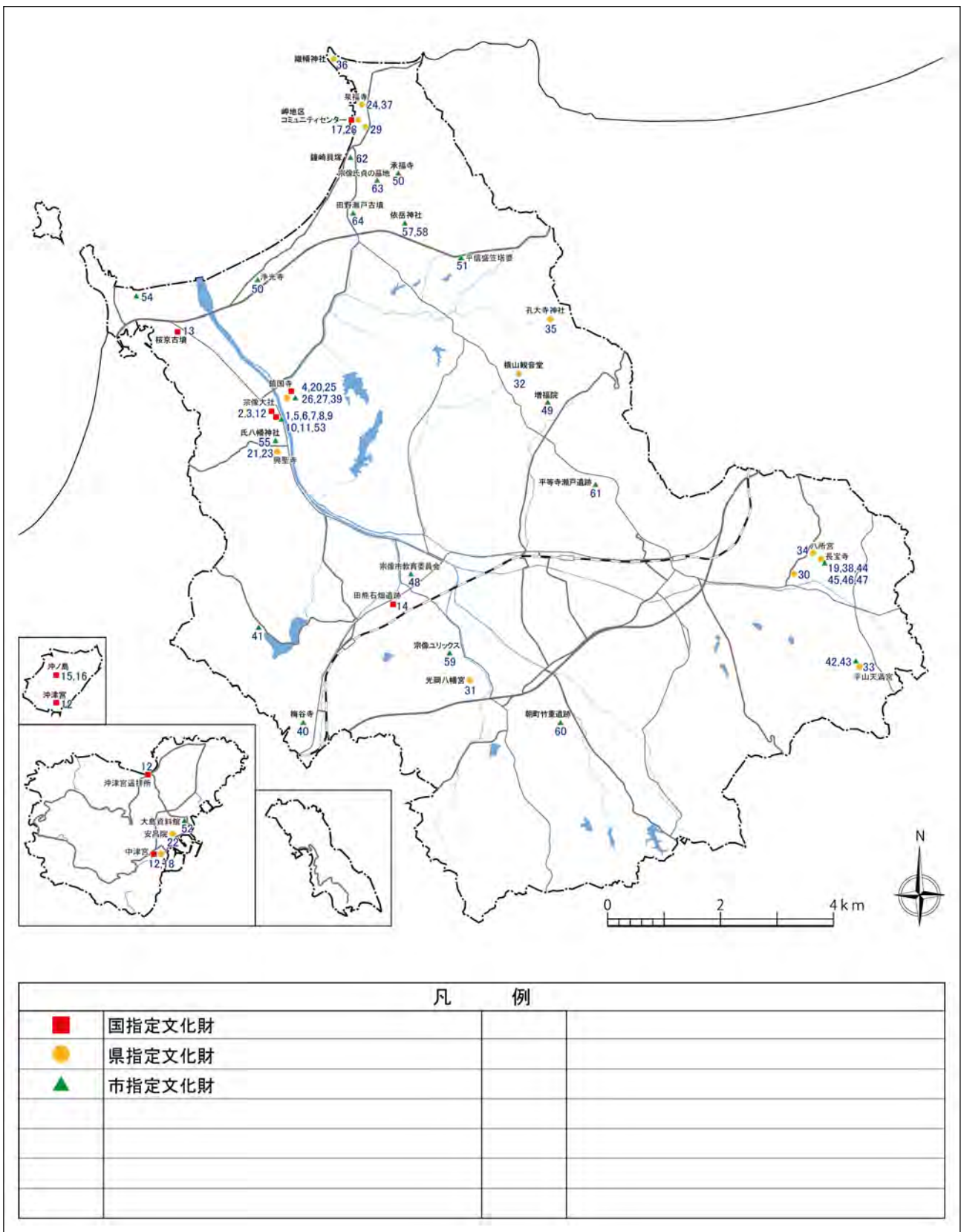


図 指定文化財の位置

〔資料：都市計画基礎調査（H24年度）、郷土文化学習交流室（H25）〕

表 指定文化財／その1

平成 25 年 1 月 1 日現在

図面 対象 番号	分類		指定 主体	指定年月日	名称	種類・規模など	所在地
1	国 宝	考古資料	国	S37.6.21	福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品		宗像大社
2	重要文化財	建造物	国	M40.5.27	宗像神社辺津宮本殿	1棟	宗像大社
3	重要文化財	建造物	国	M42.6.15	宗像神社辺津宮拝殿	1棟	宗像大社
4	重要文化財	彫 刻	国	M37.2.18	木造不動明王立像	1軀	鎮国寺
5	重要文化財	彫 刻	国	M37.2.18	木造狛犬	1対	宗像大社
6	重要文化財	彫 刻	国	M37.2.18	石造狛犬	1対	宗像大社
7	重要文化財	工 芸	国	S32.2.19	藍韋威肩白胴丸	1領	宗像大社
8	重要文化財	書 跡	国	S33.2.8	色定法師一筆一切経	4331巻	宗像大社
9	重要文化財	古文書	国	S53.6.15	宗像神社文書	12巻他	宗像大社
10	重要文化財	考古資料	国	S14.9.8	滑石製経筒	1口	宗像大社
11	重要文化財	考古資料	国	M39.4.14	経石	1基	宗像大社
12	史 跡		国	S46.4.22	宗像神社境内		宗像大社
13	史 跡		国	S51.3.31	桜京古墳		宗像市
14	史 跡		国	H22.2.22	田熊石畑遺跡		宗像市
15	天然記念物		国	S56.6.26	カンムリウミスズメ		沖ノ島
16	天然記念物		国	T15.10.10	沖の島の原始林		沖ノ島
17	登録有形民俗文化財		国	H22.3.21	玄界灘の漁撈用具及び船大工用具		鐘崎
18	有形文化財	建造物	県	S47.4.15	宗像神社中津宮本殿		大島
19	有形文化財	彫 刻	県	S46.6.15	木造十一面観音立像	1軀	長宝寺
20	有形文化財	彫 刻	県	S47.4.25	宗像五社本地仏	5軀	鎮国寺
21	有形文化財	彫 刻	県	H12.11.1	木造色定法師坐像	1軀	興聖寺
22	有形文化財	彫 刻	県	H24.3.26	銅像菩薩形坐像		安昌院
23	有形文化財	工 芸	県	S32.12.20	梵鐘	1口	興聖寺
24	有形文化財	工 芸	県	S34.3.31	梵鐘	1口	泉福寺
25	有形文化財	考古資料	県	S32.8.29	銅製経筒	1口	鎮国寺
26	有形文化財	考古資料	県	S33.4.3	阿弥陀如来坐像板碑	1基	鎮国寺
27	有形文化財	考古資料	県	S34.3.31	線刻釈迦如来石仏	1面	鎮国寺
28	有形民俗文化財		県	S36.1.14	海女の用具	1括	宗像市
29	無形民俗文化財		県	H3.11.15	鐘崎盆踊り		鐘崎盆踊り振興会
30	天然記念物		県	S28.11.5	吉武の榎	1本	吉留
31	天然記念物		県	S31.7.21	光岡八幡宮の大樟	1本	光岡八幡宮
32	天然記念物		県	S31.7.28	横山の大樟	1本	横山観音堂
33	天然記念物		県	S50.8.14	平山天満宮の大クス	1本	平山天満宮
34	天然記念物		県	S41.11.1	八所神社の社叢		八所宮
35	天然記念物		県	S31.7.28	孔大寺の大銀杏	1本	孔大寺神社
36	天然記念物		県	S32.8.13	織幡神社のイヌマキ天然林	1叢	織幡神社
37	天然記念物		県	H11.3.19	泉福寺のエノキ	1本	泉福寺
38	有形文化財	建造物	市	H3.11.20	長福寺(長宝寺)観音堂		長宝寺
39	有形文化財	建造物	市	S49.3.30	鎮国寺本堂	1棟	鎮国寺
40	有形文化財	彫 刻	市	S62.4.17	千手観音立像	1軀	梅谷寺
41	有形文化財	彫 刻	市	S63.10.12	用山の阿弥陀如来坐像	1軀	堂の下
42	有形文化財	彫 刻	市	H13.6.1	平山の阿弥陀如来立像	1軀	平山区
43	有形文化財	彫 刻	市	H13.6.1	平山の天部形立像		平山区
44	有形文化財	彫 刻	市	H3.11.20	木造不動明王像	1軀	長宝寺
45	有形文化財	彫 刻	市	H3.11.20	木造天王像	(甲、乙2軀)	長宝寺
46	有形文化財	彫 刻	市	H3.11.20	木造大威徳明王像	1軀	長宝寺
47	有形文化財	彫 刻	市	H3.11.20	木造大日如来像	1軀	長宝寺

〔資料：郷土文化学習交流室（H25）〕

表 指定文化財／その2

平成 25 年 1 月 1 日現在

図面 対象 番号	分類		指定 主体	指定年月日	名称	種類・規模など	所在地
48	有形文化財	絵 画	市	S62.4.17	黒田二十四騎久野家隊列図		宗像市教育委員会
49	有形文化財	書 跡	市	S62.4.17	増福院文書	(5巻7点)	増福院
50	有形文化財	書 跡	市	S49.10.19	承福寺文書	7件	承福寺
51	有形文化財	考古資料	市	S49.3.30	平信盛笠塔婆	1基	
52	有形文化財	歴史資料	市		大図	8枚	
53	無形民俗文化財		市	S53.7.12	主基地方風俗舞		宗像大社
54	無形民俗文化財		市	H2.3.31	神湊盆踊り		神湊盆踊り振興会
55	天然記念物		市	S49.10.19	大楠	1本	氏八満神社
56	天然記念物		市	S50.8.28	浄光寺藤の木	1本	浄光寺
57	天然記念物		市	S50.8.28	依岳神社バクチの木	2本	依岳神社
58	天然記念物		市	S50.8.28	依岳神社いちょうの木	1本	依岳神社
59	史 跡		市	S63.10.12	久原澤田古墳群		宗像ユリックス
60	史 跡		市	H4.6.30	朝町竹重遺跡		朝町
61	史 跡		市	H58.4.15	平等寺瀬戸遺跡		平等寺
62	史 跡		市	S62.2.1	鐘崎(上八)貝塚		林野庁
63	史 跡		市		宗像氏貞の墓地及び石塔	1基	承福寺
64	史 跡		市		田野瀬戸古墳		

〔資料：郷土文化学習交流室（H25）〕

(2) 埋蔵文化財の位置

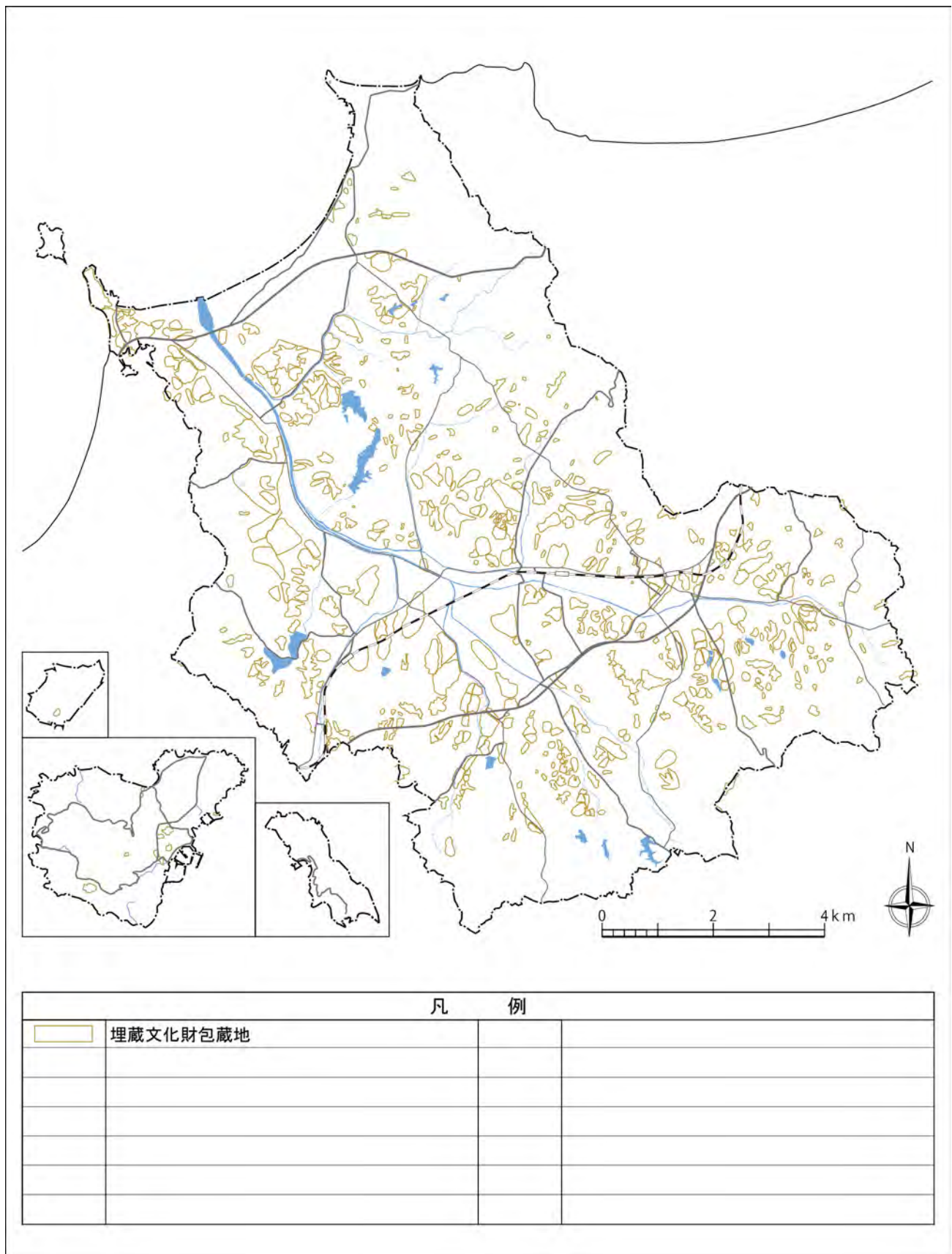


図 埋蔵文化財の位置

〔資料：宗像市遺跡等分布地図（H23）、教育委員会〕

2 目標値の設定方法など

(1) 市土の利用区分及び定義

利 用 区 分	定 義	資 料	備 考
1. 農用地	農地法第2条第1項に定める農地及び採草牧草地の合計。	福岡農林水産統計年報の耕地面積の「合計」	資料のラウンドにより、「合計」と「田+畑」の数値は一致しない。
(1) 農地	耕作の目的に提供される土地であって畦畔を含み水路、農道は含まない。	福岡農林水産統計年報の耕地面積の「田」及び「畑」	
(2) 採草牧草地	農地以外の土地で、主として耕作または養畜の事業のための採草又は家畜の放牧の目的に供されるもの。	旧市営牧場の面積(大島)	
2. 森林	国有林と民有林の合計であり、林道面積は含まない。	福岡県林業統計要覧	
(1) 国有林	林野庁所管国有林、官行造林地、その他省庁所管国有林の合計。		
(2) 民有林	森林法第2条第1項に定める森林であって同法同条第3項に定めるもの。(地域森林計画対象民有林及び同計画対象外の民有林)		
3. 原野	林地のうち森林でない草生地であり、湿原、未利用の野草地など。(農地、森林、河川などほかの地目区分に属するものを除く)		本市では、この定義による原野面積は有効数値とならない。
4. 水面・河川・水路			
(1) 水面	湖沼(人口湖及び天然湖沼)並びに溜池の満水時の水面面積であり、堤体は含まない。	ため池台帳	
(2) 河川	河川法第4条に定める一級河川、同法第5条に定める2級河川及び同法第100条による準用河川の同法第6条に定める河川区域をいう。	河川台帳	
(3) 水路	農業用排水路。	整備済み水田面積×0.069+未整備水田面積×0.039(水田面積は生産基盤整備状況図)	
5. 道路			
(1) 一般道路	道路法第2条第1項に定める道路で高速自動車道、一般国道、県道及び市町村道をいい、法面などを含む。	宗像市統計書	
(2) 農道	農業用道路をいい、ほ場内農道及びほ場外農道であり法面を含む。	道路現況(総括)台帳・検査表	
(3) 林道	国有林林道及び民有林林道をいい、法面を含む。	林道台帳	
6. 宅地	建物の敷地及び建物の維持又は効用を果たすために必要な土地。		
(1) 住宅地	「固定資産の価値等の概要調書」の評価総地積の住宅用地に、非課税地積のうち、都道府県営住宅用地、市町村営住宅用地及び公務員住宅用地を加えたもの。	「固定資産の価値等の概要調書」の宅地計—商業地等(非住宅用地)	
(2) 工業用地	「工業統計表(用地・用水編)」にいう「事業所敷地面積」で従業員10人以上の事業所敷地面積に補正したもの。	(「福岡県の工業」の従業員30人以上の事業所の敷地面積)+(従業員30人以上事業所の敷地面積)×(従業員10人以上29人以下事業所の製造品出荷額)/(従業員30人以上事業所の製造品出荷額)	
(3) その他の宅地	(1)(2)の区分のいずれにも該当しない宅地で事務所・店舗などの用に供される宅地。	宅地—住宅地—工業用地	
7. その他	市土面積のうち、上記のいずれにも該当しないもの。	合計—それ以外	沖ノ島全域は、この中に含まれる。
合計	市土面積。	全国都道府県市区町村別面積調(国土交通省国土地理院)	
(市街地)	「国勢調査」による人口集中地区(DID)面積であり、人口密度1km ² 当たり4,000人以上の調査区が互いに隣接して、その人口が5,000人以上となる地区をいう。	国勢調査(平成37年の値は、平成22年の値をもとに、住宅面積に対する割合で求めた。)	

(2) 利用区分別面積の推移

表 利用区分別面積の推移

(単位:ha)

区分	農用地	森林	原野	水面・河川・水路	道路	宅地				その他	宗像市 総面積
						住宅地	工業用地	その他の宅地			
平成15年	2,437	4,787	0	650	733	1,580	1,197	12	371	1,777	11,964
16年	2,425	4,787	0	650	770	1,588	1,207	9	372	1,744	11,964
17年	2,420	4,783	0	650	776	1,594	1,219	8	367	1,742	11,965
18年	2,400	4,783	0	650	780	1,581	1,230	8	343	1,771	11,965
19年	2,390	4,783	0	650	785	1,588	1,246	8	334	1,770	11,966
20年	2,390	4,783	0	649	786	1,597	1,255	8	334	1,761	11,966
21年	2,370	4,732	0	649	905	1,605	1,266	8	331	1,705	11,966
22年	2,360	4,732	0	649	909	1,613	1,276	8	329	1,703	11,966
23年	2,360	4,732	0	649	913	1,619	1,284	9	326	1,693	11,966

(3) 利用区分別の目標面積の算定方法

1) 農用地

農地造成などの増加要因がないことから、面積の増加はなく、住宅地や道路などへの転換に伴い 43ha の減少を想定する。

2) 森林

造林などの増加要因がないことから、面積の増加はなく、工業用地や道路などへの転換に伴い 34ha の減少を想定する。

3) 原野

国土利用計画の定義に基づく原野は本市には存在せず、この状況に変化はないものと考えられる。

4) 水面・河川・水路

①水面

ダムの面積は将来とも変化はないと考えられる。その他の水面については、住宅地整備に伴って、その一定割合が公共用地としてこれに転換されるものとしたことから、4ha の増加を想定する。

②河川

河川面積の増減を伴う河川改修計画はないため、面積の変更はないものと想定する。

③水路

水路面積の算定は、水田面積に水路率を乗じる方法により算出しているが、水田面積が減少する見込みであることから、水路面積は 1 ha の減少を想定する。

5) 道路

①一般道路

住宅地整備に伴って、その一定割合がこれに転換されるものとしたことから、13ha の増加を想定する。

②農道

具体的な整備計画がないことから増減はないものと想定する。

③林道

具体的な整備計画がないことから増減はないものと想定する。

6) 宅地

①住宅地

「単位人数あたりの住宅地面積の変化」及び「将来人口の微増」により増加が見込まれる。このような考え方から、まず、住宅地面積の原単位の変化をトレンドで予測し、これに将来人口を乗じて将来需要面積を推計した。ただし、この需要面積をすべて農用地や森林から転換するのではなく、既存住宅団地の空き地・空き家の利用で一定程度をまかなうものとした。この結果、30ha（ネット）の増加を想定する。

この将来需要を、「①市街化区域の未利用地のうち森林を除いた場所」10ha（ネット）と「②市街化区域以外の農用地や森林等で、宅地への転換の条件が整っており、政策的にも転換が望ましい場所」20ha（ネット）でまかなうものとする。

②工業用地

周辺類似自治体の「製造業従業者数／人口比」を参考にして設定した製造業従業者数の増加目標に「1人当たりの製造業事業所敷地面積全国平均（H22）＝248.0 m²」を乗じ、これから、「準工業地域の未利用地面積（ネット）」を差し引いて、将来必要面積を推計した。この必要面積と、団地性のある工業用地として供給可能な土地の分布の現状を比較検討し、26ha（ネット）の増加を想定する。

③その他の宅地

その他の宅地は、主に商業・業務系の施設用地が占めるが、面積は減少傾向にあることから、将来需要面積も減少が予測される。そこで、現状を維持するため、赤間駅周辺及び国道495号沿道に商業用地を4ha（ネット）程度確保する。

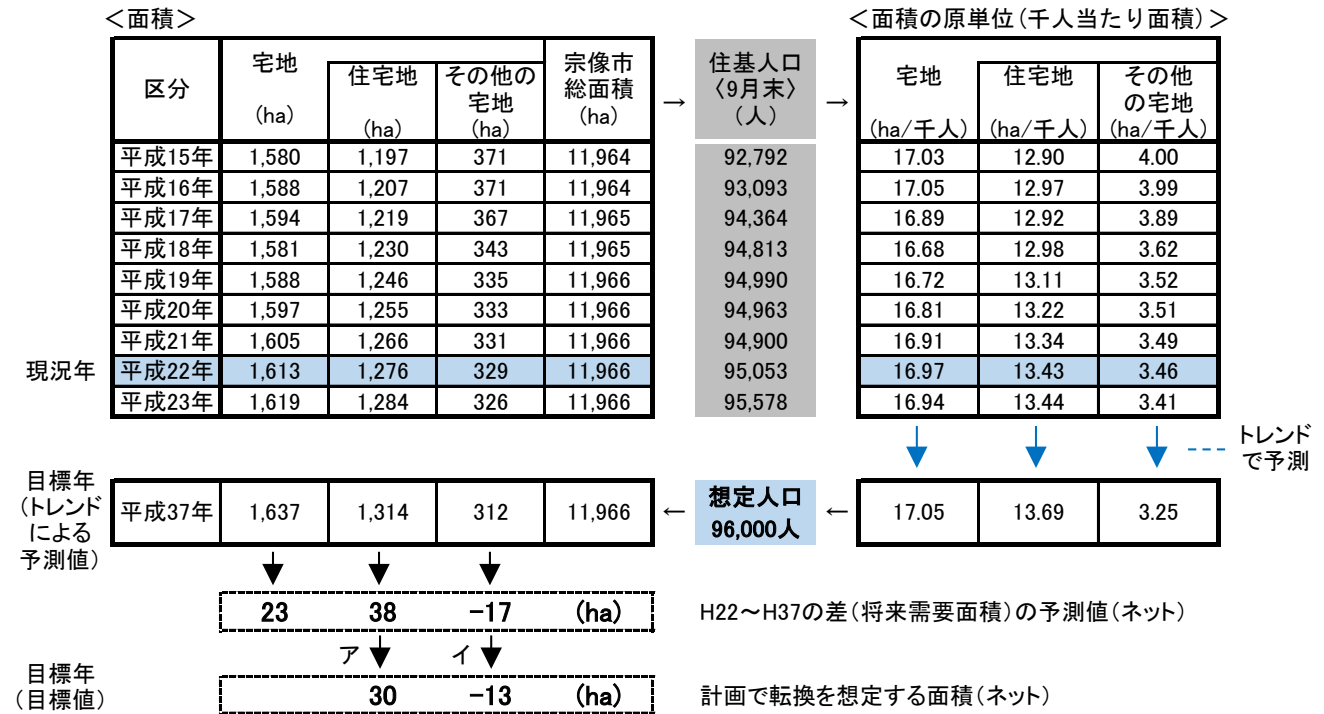
7) その他

公園緑地などとして1haの増加を想定する。

8) 市街地

DID 地域のことである。住宅地の増加に伴い、21haの増加を想定する。

●住宅地、その他の宅地の転換想定面積決定の考え方

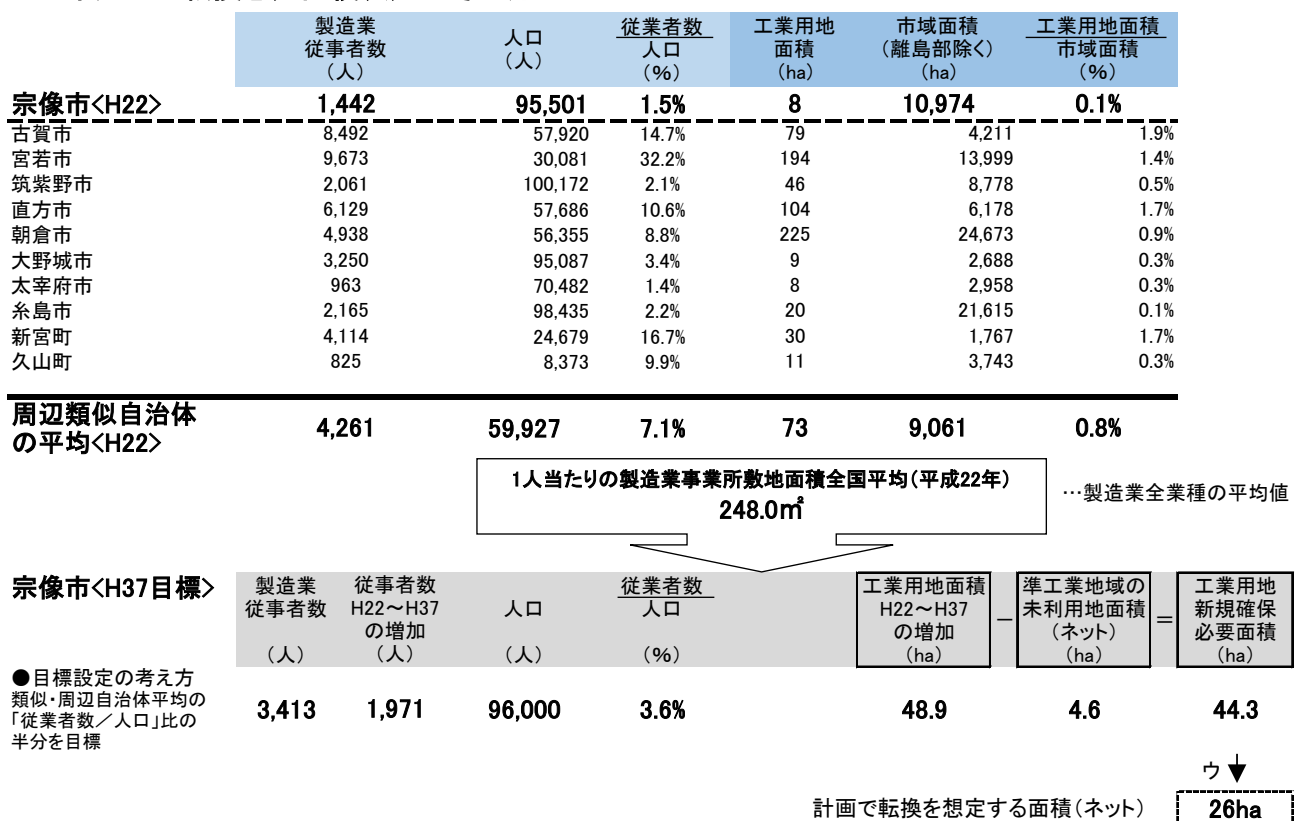


＜転換想定面積決定の考え方＞

ア：空き地・空き家の利用などを行うことにより、実際には「新規に住宅地への転換が必要な面積」はトレンドでの予測値を下回ると考えられるので、転換面積を小さく設定する。

イ：需要では減少が予測されるが、現状を維持するため、赤間駅周辺及び国道495号沿道に商業用地を4ha程度確保する。

●工業用地の転換想定面積決定の考え方



＜転換想定面積決定の考え方＞

ウ：必要面積と、団地性のある工業用地として供給可能な土地の分布の現状を比較検討し、26haとした。

(4) 土地利用転換表（現況年～目標年）

●大区分ごと

（単位：ha）

転換源 \ 転換先		農用地	森林	原野	水面・河川・水路	道路	宅地	その他
平成22年	農用地	2,360	2,317		2.1	6.9	33.0	0.5
	森林	4,732	4,698		1.7	5.6	26.7	
	原野	0		0				
	水面・河川・水路	649			647	0.2	1.1	
	道路	909				909		
	宅地	1,613					1,613	
	その他	1,703						1,703
平成37年目標値		2,317	4,698	0	651	922	1,674	1,704

（注1）色枠内の数値は、平成37年までに土地利用転換が行われない分である。

（注2）合計が合わない部分はラウンドによる。

●細区分ごと

（単位：ha）

区分		平成 22年 基準 年次	農用地				森林			原 野	水面・河川・水路				道路				宅地				そ の 他	増 加 分 計	減 少 分 計	平成 37年 目標値
			計	田	畑	採草 牧草地	計	国有林	民有林		計	水面	河川	水路	計	一般 道路	農道	林道	計	住宅地	工業 用地	その他の 宅地				
農用地	計	2,360									△ 2.1	△ 2.1			△ 6.9	△ 6.9			△ 33.0	△ 16.4	△ 2.4	△ 14.3	△ 0.5		△ 42.5	2,317
	田	1,630									△ 1.4	△ 1.4			△ 4.7	△ 4.7			△ 22.3	△ 11.1	△ 1.6	△ 9.7	△ 0.4		△ 28.8	1,601
	畑	608									△ 0.7	△ 0.7			△ 2.2	△ 2.2			△ 10.6	△ 5.3	△ 0.8	△ 4.6	△ 0.2		△ 13.7	595
	採草 牧草地	120																								120
森林	計	4,732									△ 1.7	△ 1.7			△ 5.6	△ 5.6			△ 26.7	△ 13.2	△ 1.9	△ 11.6	△ 0.4		△ 34.4	4,698
	国有林	330																								330
	民有林	4,402									△ 1.7	△ 1.7			△ 5.6	△ 5.6			△ 26.7	△ 13.2	△ 1.9	△ 11.6	△ 0.4		△ 34.4	4,368
原 野		0																								0
水面・河川・水路	計	649	2.1	1.4	0.7		1.7		1.7					△ 0.2	△ 0.2				△ 1.1	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.0	3.7	△ 1.3	651
	水面	409	2.1	1.4	0.7		1.7		1.7															3.7		413
	河川	354																								354
	水路	55												△ 0.2	△ 0.2				△ 1.1	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.0		△ 1.3	54
道路	計	909	6.9	4.7	2.2		5.6		5.6		0.2			0.2										12.8		922
	一般 道路	810	6.9	4.7	2.2		5.6		5.6		0.2			0.2										12.8		823
	農道	87																								87
	林道	12																								12
宅地	計	1,613	33.0	22.3	10.6		26.7		26.7		1.1			1.1										60.8		1,674
	住宅地	1,276	16.4	11.1	5.3		13.2		13.2		0.5			0.5										30.1		1,306
	工業 用地	8	2.4	1.6	0.8		1.9		1.9		0.1			0.1										4.3		12
	その他の 宅地	329	14.3	9.7	4.6		11.6		11.6		0.5			0.5										26.3		356
その他		1,703	0.5	9.7	4.6		11.6		11.6		0.0			0.0										1.0		1,704
合計		11,966	42.5	28.8	13.7	0.0	34.4	0.0	34.4	0.0	△ 2.4	△ 3.7	0.0	1.3	△ 12.8	△ 12.8	0.0	0.0	△ 60.8	△ 30.1	△ 4.3	△ 26.3	△ 1.0	78.2	△ 78.2	11,966

（注）合計が合わない部分はラウンドによる。